

官報

號外

明治三十年三月九日

火曜日 內閣官報局

○第十回衆議院議事速記第十九號

明治三十年三月八日(月曜日)午後一時二十一分開議

議事日程 第十九號 明治三十年三月八日

午後一時開議

- 第一 蠶種檢査法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 明治二十七年法律第二十三號改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 戎器火藥類取締法案(政府提出) 第一讀會
- 第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第八 警察監視法案(政府提出) 第一讀會
- 第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十 保安條例廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十二 國稅徵收法案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十四 震災地方租稅特別處分法案(政府提出) 第一讀會
- 第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十六 保安條例廢止法律案(竹内正志君外二名提出) 第一讀會
- 第十七 豫戒令廢止建議案(竹内正志君外二名提出) 第一讀會
- 第十八 明治二十八年法律第四號中改正法律案(重岡黨五郎君外五名提出) 第一讀會
- 第十九 肥料取締法案(福田久松君提出) 第一讀會
- 第二十 會計年度改正ニ關スル建議案(小坂善之助君外九名提出)

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ報告ヲ爲シマス

(田中書記官朗讀)

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

衆議院議事速記第十九號

明治三十年三月八日

議長ノ報告

裁判所構成法中改正法律案 提出者 鈴木充美君 鳩山和夫君	商事會社合併並組織變更法案 提出者 前川 慎造君 小室重弘君	消防組法案 提出者 木村誓太郎君	登錄稅法中改正法律案 提出者 喜多川孝經君 真下珂十郎君 佐藤忠望君	齋藤良輔君 沼田宇源太君 小室重弘君 工藤行幹君 下飯坂權三郎君 谷澤龍藏君	山林行政ノ機關ヲ地方廳ニ置クノ建議案 提出者 中村彌六君 磯部十藏君 谷河尙忠君 川越進君 齋藤良輔君 中村彦次君 工藤行幹君 折田兼至君 喜多川孝經君 佐藤忠望君 門脇重雄君 目黒貞治君 波多野傳三郎君 今井磯一郎君	大阪府兵庫縣境界變更法律案 提出者 中野廣太郎君 東尾平太郎君 南野道親君 櫻井義起君 前川 慎造君 高橋安爾君	東京市制案 提出者 肥 塚 龍君 肥 塚 雄君 中島又五郎君	千代田縣設置法律案 提出者 肥 塚 龍君 肥 塚 雄君 須藤時一郎君	東京市及千代田縣連帶支辨ノ費用ニ關スル法律案 提出者 肥 塚 龍君 肥 塚 雄君 須藤時一郎君 中島又五郎君	警察費ニ對スル國庫下渡金ノ規定ヲ東京市及千代田縣ノ警察費用ニ適用スル法律案 提出者 肥 塚 龍君 須藤時一郎君
------------------------------------	--------------------------------------	---------------------	---	---	---	--	---	---	--	---

濱田儀一郎君大島信君恆松隆慶君ヨリ測候所増設ニ關スル件ニ付質問書ヲ提出セラレタリ
特別委員左ノ通り指名セリ
興農法案委員
岡田良一郎君 小倉井權三郎君
岡村 貢君 江島久米雄君
權藤 貫一君 小崎 義明君
酒造稅法中改正法律案委員
大北作次郎君 河野 岩吉君
花本甚右衛門君 安田益太郎君
西村 禮作君 中村 彦次君
自家用酒稅法中改正法律案委員
福江角太郎君 山田 嘉毅君
漆間 民夫君 佐藤 忠望君
內藤 正義君 厚地 政敏君
登録稅法中刪除法律案委員
志波三九郎君 木暮武太夫君
內藤 久寬君 齋藤 良輔君
秋保 親兼君 佐々木正藏君
〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

提出者 濱田儀一郎 大島 信 恆松 隆慶 小室 重弘 外三十名
贊成者 大島 信 恆松 隆慶 小室 重弘 外三十名
測候所増設ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十年三月八日

測候所増設ニ關スル質問主意書
一我日本ハ四面環海ノ國ナルヲ以テ其氣象觀測ニハ最モ心ヲ用ヒサルヘカ
ラス然ルニ現在ノ觀測所ハ一ノ中央氣象臺ト七十餘ノ地方測候所トアル
ニ過キス管ニ其數ノ僅少ナルノミナラス其配置亦頗ル當ヲ得サルモノ
アリ然ルニ政府ハ其施設ヲシテ完備ナラシムルニ意ヲ用ヒサルカ如シ政府
ハ現在ノ測候所ヲ以テ別ニ不足ナク又適當ナル配置ナリト爲ス乎
一中央氣象臺ト地方測候所トハ肢體ノ首腦ニ於ケルカ如キ關係ヲ有スルモ
ノナリ故ニ其機能ヲシテ全カラシメンニハ同一經濟ノ下ニ支配セサルヘ
カラス政府ハ現在ノ制度即チ中央氣象臺ハ國庫支辨トシ地方測候所ハ概
一測候所ハ航海農業等ニ尤モ緊切ノ關係アルハ論ヲ待タズ松方總理大臣ハ
本期議會ノ當初ニ於テ國家財政ノ許ス限リ實業ノ發達ヲ獎勵セント明言

サレタリ然ルニ航海上農業上共ニ密切ノ關係アル測候所ニ就テ更ニ願
ル所ナキハ何ソヤ
右及質問候也
○讀長(鳩山和夫君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ就イテ御諮リスル
コトガゴザイマス、紫藤寬治君病氣ノタメニ、本日ヨリ來ル二十一日マデ、二
週間ノ請暇ヲ申出デラレマシタ、許可シテ差支ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○讀長(鳩山和夫君) 許可スルコトニ取計ヒマス——濱田儀一郎君

〔濱田儀一郎君演壇ニ登ル〕
○濱田儀一郎君(二百二十一番) 諸君、私ハ本日測候所ノコトニ就キマシテ、
政府ニ質問書ヲ提出シマシタコトデゴザイマス、簡單ニ其理由ヲ述ベントシ
マスルコトデゴザイマス、我國ハ地勢細長クシテ、海ニ瀕シテ居リマス、
且ツ山ノ多イ國デゴザイマス、因ツテ國土保安上ニ於テモ、國ヲ富マシ兵ヲ
強クスル點ニ於テモ、最モ觀測ニハ注意シナケレバナラヌコトデゴザイマス、
故ニ去ル第九議會ニ於キマシテ、測候所増設ノ建議ヲ私共外數名ヨリ出シマ
シタコトデゴザイマス、此建議ハ滿場一致ヲ以テ決議サレマシタコトデ
ゴザイマス、然ルニ政府ハ當議會ニ議案ヲ出サナイ、又是ニ應ジナイニ依
テ、政府ハ何故ニ議案ヲ出サナイ、又政府ハ何故ニ是ニ應ジナイト云フ理由
ヲ以テ、質問ヲ致シマスルコトデゴザイマス、第一、我國ハ觀測ノ機關トシ
マスルノハ、一ノ中央測候所ト、七十バカリノ地方測候所ニ過ギナイ、今日我
國戰勝國ノ結果、又國光ヲ膨脹スル我日本トシテ、觀測ハ最モ必要ナコトデ
ゴザイマス、現今ノ地方測候所ナルモノハ、地方議會ニ放任シテアリマス、因
テ此成立ツト成立タヌトハ、地方議會ノ隨意ナモノデゴザイマス、マダ建設
シナイ縣モ幾ラモアルコトデゴザイマス、其設置ハ、府縣ニ於テ
多ク府縣廳舎ノ所在地ニ置イテアリマス、此測候所ノ效用ナルモノハ、平
地ニ於キマシテハ十五六里方里、乃至二十五六里ノ效用ハアリマス、ケレド
モ、山トカ或ハ大キナル川トカ、或ハ海ヲ隔ツトキハ、僅カ數里方里ノ效ヨリ
アリヤシマセヌデゴザイマス、又此風雨ノ氣候ナシト申シマスルモノハ、
寒暖ノ變、潮流ノ變ニ依ツテ生ズルモノデゴザイマス、決シテ行政區
劃ニ依ルモノデアリヤシナイ、又決シテ地方問題デゴザイマセヌ、國家問題
デゴザイマス、其譯ハ、夏期ニ於テハ遠クハ臺灣、沖繩、八重山群島、大島
等ヨリ起リマス、冬期ニ於テハ九州四國ヨリ變化ノ起ルモノデアリマス、又
冬期ニ在ツテハ、日本海ヨリシテ變化ガ起ルモノデ、此暴風ナルモノハ、吾
吾ノ生命財產ヲ非常ニ害スルモノデアリマス、ソレニ政府ハ何故ニ觀測ノ
コトニ注意シナイト申シマスル所ノコトニ就イテ、質問シマスル譯デゴザイ
マス、第二ハ、中央測候所ト地方測候所トハ、人ノ身體ニ比較シマスルト、
頭腦ト額トノ關係ヲ持ツテ居リマス、又軍隊ニ比シマスルト、本軍ト哨兵線
トノ關係ノアルモノデアリマス、故ニ同一經濟ノ下ニ置キマシテ、速ニ氣
脈ヲ通シ、其變ニ應ジ、效ヲ奏スル機關トシナケレバナラヌモノデアリマス
然ルニ現今ノ中央氣象臺ハ、國庫支辨ニ在リマシテ、地方測候所ハ地方費ニ
放任シテアリマス、故ニ互ノ氣脈ト申シマスルモノハ、靴ヲ隔テ、痒キヲ搔
クノ感シガアリマス、因ツテ拙者ハ地方測候所ヲ國庫費ニ移シテ、同一ノ經

濟ノ下ニ置カントシマスル意見ナノデアリマス、其同一ノ經濟ノ下ニ置キマ
スルトキハ、中央測候所ト地方測候所トハ頭腦ノ肢體ノ如ク、又本軍ノ哨兵
線ニ於ケル如ク、速ニ互ニ應ジ是ニ、氣脈ヲ通ズルコトガ出來マセウト存シ
マス、然ルニ政府ハ從來ノ如ク不完全ナモノヲ以テ、之ヲ以テ足レリトスル
カ、其邊ノ明答ヲ煩シマスコトゴザイマス、第三ハ、松方總理大臣ハ此議
會ノ初ニ當ツテ、國家ノ財政ガ許ス限ハ實業ノ發達ヲ獎勵スルト明言セラレ
マシタコトゴザイマス、此地方測候所ヲ建設スルニ就キマシテハ、一等測
候所デアリマシテモ、三千七百四十六圓ノ建設費ニ過ギナイ、二等測候所ニ
於キマシテ一箇所、三千四百四十六圓ニ過ギナイ、又此維持費ナルモノハ、
一等測候所ガ千八百六十六圓、二等測候所ガ千三百三十四圓餘デイケマス
譯テ、又翻ツテ航海獎勵トカ、農工業ノ振作トカ云フモノヲ見レバ、數十萬
圓、數百萬圓ノ莫大ナ金ヲ要シマス、此松方内閣ハ老政事家ニシテ、殊ニ經
濟ニ老練ナト申シマスルコトハ、朝野ノ共ニ許スコトゴザイマスガ、斯ノ如
キ見易キ、少シノ金ヲ以テ莫大ナ利益ヲ得ラレル觀測ノ事ニ於テ、一向心ヲ
用ヒナイト云フノハ分ラナイ、畢竟航海獎勵トカ、或ハ農工業ノ振作ト云フ
ノハ末デアアル、航路擴張ニ於キマシテモ、軍備擴張ニ於キマシテモ、農工業
ノ振作ニ於キマシテモ、觀測ハ最モ本ナノノ、其本ヲ措イテ、末ニ走ルト申
シマスルモノハ、老政事家タル松方伯ノ意見ガ分ラナイ、因テ拙者ハ速ニ此
觀測所、即チ地方測候所ヲ國庫ニ移シテ、此建設ヲ十分セラレンコトヲ望ム、
終ニ臨ンデ一言シマスルガ、先刻來述ベマスルコトヲ速ニ確固タル御答ヲ聽
キタイノデゴザイマス、例ノ抱負アリトカ、何トカ云フ、曖昧ニ付シテ日ヲ延
ス如キヲシマセズシテ、明瞭ニ御答辯アランコトヲ望ミマス、一言述ベテ置
キマス

○元田肇君演壇ニ登ル

○元田肇君(百十二番) 本員ハ唯今緊急事件トシテ、御報告致シマスルコト
ガアリマス、明治三十年年度歳入歳出總豫算追加、即チ總追第二號、明治三十
年度各特別會計歳入歳出豫算追加、即チ特追第二號、是ニ附屬シマシタ豫算
外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ要スルモノ、語ヲ換ヘテ申シマスレバ、臺灣
總督府ニ關係シマシタ豫算デアリマス、之ヲ豫算委員會ニ於テ請取リマシテ、
今日マデ主査會デ調査致シテ居リマシタ譯デゴザイマス、然ルニ本日ノ豫算
委員總會ニ於キマシテ、委員ノ中板東君ヨリ、右申上ゲマシタ豫算ノ編製上
ニ、甚ダ不都合ノコトヲ發見シテカカシテ、一ノ發議ヲ爲スト云フコトデア
リ、總追第二號、特追第二號、ソレニ附屬スル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約
ヲ要スルモノ、右ハ本院ニ於テ政府ニ對シテ撤回ノ上更ニ編製提出ヲ請求ス
ヘキモノナリ、斯ウ云フ動議ヲ提出致シマシタノデアリマス、デ、其理由ヲ
一應述べ、併テ經過ヲ述ブルノデゴザイマス、此趣意ハ拓殖務省所管臺
灣總督府ノ豫算ヲ見マスルト、是マデノ總豫算ニ於キマシテハ款項ト分レテ
居リマス内、之ヲ詳シク見マスルト、項ノ内ガ分レテ目トナツテ居ルデア
リマス、然ルニ臺灣總督府ノ歳出ノ如キハ、ドウ編制シテアルカト申シマス
ルノニ、民政費ト云フ内ニ、普通ノ豫算デハ色、ニ之ガ分ケテアルモノヲ、
ヒツ括メテ之ヲ項ト致シテアリマス、デ、總豫算ニ依リマスルト云フト、俸
給トカ、廳費トカ、或ハ其他雜給トカ云フヤウナモノガ、皆分レテ項ニ積ッ

テアル處ニ、此臺灣ノ豫算ノ編製方ヲ見マスルト云フト、民政費ト云フ大キ
ナモノガ項ニナツテ、詰リ語ヲ換ヘテ言ヒマスルト云フト、總豫算ノ内務費
ト云フモノガ項ニナツテ居ルト云フノミデ、俸給ハドウデアアルカ、廳費ハド
ウデアアルト云フコトハ、項ノ中ニ載ツテ居ラヌデアリマス、ソレ故ニ此立テ
方ニ依リマスルト、會計法ノ十二條ニ於キマシテ、款項ノ流用ヲ禁ズト云フ
法文ガアリマスルケレドモ、實際此法文ハ、何モナラナイ、勝手次第ノコトガ
出來ルヤウニ編制シテ來テアルデゴザイマス、デ、是ハ甚ダ不都合ナコトデ
アリマスルカラシテ、他ノ總豫算ノ如ク相當ノ編製方法ニ仕直シテ、更ニ提
出スルヤウニト云フコトヲ請求スベキモノデアルト云フ御發議ガアツタ譯デ
アリマス、是ヲ委員總會ニ於テ決議ヲ問ヒマシタ所ガ、滿場一致ヲ以テ可決
致シマシタ、即チ「右ハ本院ニ於テ政府ニ對シテ撤回ノ上更ニ編製提出ヲ請
求スヘキモノナリ」斯様ニ滿場一致ヲ以テ豫算委員會デ議決致シマシタコト
デアリマス、此事ニ就キマシテ序ニ御報告致シテ置キマスルガ、是ハ餘リナ
不都合ナ仕方ト考ヘマスルカラ、政府ハ隨分議會ニ於テ、或ハ委員會ニ於テ
修正シタコトハ、大抵ナコトハ同意シテ來ツタ例デゴザイマスルカラ、委員
會ニ於テ決議スルマデモナク、政府委員ニ於テ同意サレテ一度撤回サレテ
ハ如何デアラウカ、又飽クマデ議決スルコトヲ御待チニナルデアラウカト云
フコトヲ、出席ノ政府委員ニ委員長ヨリ尋ネマシタ所ガ、一ノ政府委員、即チ
阪谷政府委員ノ辯明ハ、大藏大臣ノ職權ニ依ツテ項ニ往クベキモノヲ目ニシ
テ置カウガ、款ニナルベキモノヲ目ニシテ置カウガ、ソレハ職權内デアアルト
云フ如キ辯明ヲサレ、北垣政府委員ハ是ニ對シテ何等ノ答辯モゴザイマセナ
カッタコトデアリマス、故ニ已ムヲ得ズ無益ノコト、ハ存シマシタケレドモ
豫算委員會ニ於テ唯今ノ通決議ヲスルノ已ムヲ得ザルニ至ツタ次第デアリマ
ス、デ、是ダケヲ御報告致シマス、併テ是ハ餘程豫算議定權ノ上ニ於テ、一
國ノ會計上ニ於キマシテハ、非常重大ナル關係ヲ及スソト思料致シマスルニ就
キマシテ、十分御審議アランコトヲ希望致シマスルノミナラズ、是カラ豫算
ニ委員會ニ於テ調査ヲ致シマスル日限ハ、誠ニ短時期ニ迫ラツテ居ルト云フ場
合ニナツテ居ルコトデアリマスルカラ、此邊ノ所モ御含ミニナツテ居ラニ、速
ニ議事日程ヲ變更シテ、總追第二、特追第二等ヲ會議ニ付セラレ、豫算委員
會ノ決議致シタノヲ本會ニ於テ御認可ニナルヤウニ致シタイト云フコトヲ發
議致シマス、是ハ餘程緊急デゴザイマシテ……公然ト言ハレヌヤウニ思ヒマ
スルガ、公然ト云フ御報告ハ出來マセヌガ、此決議ヲ致シマシテ、委員
會ハ退イテ居リマシタ、所ガ政府委員ノ一人ガ見エマシテ、少シク政府ニ於テ
相談ヲシテ見ルカラシテ、報告ヲ待ツ譯ニ往カヌト云フコトデアリマシタ
ガ、短時期ニ迫ラツタ此調査ノ日限デゴザイマスルカラ、本會ニ報告致サナケレ
バナラヌト云フコトデアリ、私ハ此所ニ待タズシテ報告スルコトニナリマシタ、
デ、然ルニ政府委員モ居ラヌヤウデゴザイマスルガ、固ヨリ本會ノ開イテア
ルコトハ承知デアリマセウ、是ハ誠ニ期限ガ切迫シテ居ラナケレバ急譯デ
ハゴザイマセヌガ、切迫致シテ居リマスルカラ、政府カラ何トモ言ツテ來又以
上ハ、緊急問題トシテ之ヲ討議セラレンコトヲ望ム譯デアリマス

○沼田宇源太君(二百六十九番)

○沼田宇源太君(二百六十九番) 唯今委員長カラ御報告ガゴザイマシタガ、
ソレニ就キマシテハ、政府ガ如何ナル取調ニ依ツテ、是マデト例ノ違ツタ豫

算案ヲ編制致シタカ、政府ノ意見ハドウ云フ意見デアアルカト云フコトヲ、政府委員カラ詳ク説明ヲ得タイト思ヒマス

○元田肇君(百十二番) 此所カラ委員會ニ於テノ政府委員ノ御答辯ヲ申上ゲマス、昨年ニ於テモ普通ノ豫算ノ編制方ニ依ッテ居ラナカッタ、其前モサウデアッタ、其時ハ戰爭最中デアアルトカ、或ハ軍國多事ノ際デアアルカラ、先ヅ是デト云フコトデアッタガ、詰リ臺灣ノ如キハ、當リ前ノ規則ヲ以テ律スルコトハ出來ニクイ、言ハ豫備費ノヤウナモノデアアルト云フヤウナ説明モ、委員會ニ於テハアッタヤウニ記憶致シマス、豫備費ト云フノハ極端デアアルガ、流用ガ勝手ニ出來ルヤウニ大括リヲ附ケテ置カヌト、實際困ルト斯ウ言ハレタノガ、委員會ノ政府委員ノ辯明デゴザイマス

○沼田宇源太君(二百六十九番) 唯今拓殖務省ノ政府委員ハ出テ居ラヌデスカ

○議長(鳩山和夫君) 政府委員ハ居ラヌヤウデ……元田肇君ノ動議ハ議事日程ヲ變更シテ、總追第二號即チ明治三十年度歲入歳出總豫算追加、特追第二號即チ明治三十年度各特別會計歳入歳出總豫算追加、及特追第二號所屬豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スルモノヲ院議ニ付サウト云フノデスネ、而シテ政府ニ對シ撤回ノ上更ニ編制提出ヲ請求スベシト云フ動議、是ハ議事日程變更ノ上テ決ヲ採リマス、先ヅ討論ヲ用ヒシテ日程變更カラ採決シヤウト考ヘル、日程變更ニ異議ハゴザイマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ日程ハ變更セラレマシタ

明治三十年度歲入歳出總豫算追加(總追第二號) 明治三十年度各特別會計歳入歳出總豫算追加(特追第二號所屬)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スルモノ(特追第二號所屬) ○議長(鳩山和夫君) 豫算委員長ノ報告——元田君ノ動議ハ先決問題ト認メテ宜シウゴザリマスカ

(贊成々々)「報告ニ同意」又ハ「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 元田君ノ動議ニ就イテ採決シマス、此動議ハ本院ニ於テ採用スヘシトスル者ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數 ○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、是ヨリ本日ノ日程ニ入りマス、日程第一、豫種検査法案第一讀會ノ續東尾平太郎君

第一 豫種検査法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(東尾平太郎君演壇ニ登ル) ○東尾平太郎君(八十八番) 豫種検査法案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマスルガ、其以前ニチヨット此報告書ノ印刷ノ誤ガゴザイマスカラ、チヨット正誤致シマス、第二十條ノ——第二十條デス「此法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス」但シ第二條及第四條トアリマスガ「及第四條」ノ文字ハ削除スルコトニナッテ居リマスカラ、斯ク御承知アリタイ「及第四條」ハ是ハ削除ニナリマスカラ(四字削除デ、スカ)ト呼フ者アリ) 四字削除デス、

委員會ハ二十六日ニ始テ開キマシテ、委員長、理事ノ互選ヲシマシタ、其後三月一日、三月三日、三月五日ニ、諸君ニ御報告ノ通修正可決シタ次第デゴザイマス、是ヨリ修正シマシタ處ヲ簡單ニ説明シヤウト思ヒマスガ、第三條ノ第三項「齒層薄弱ニシテ、齒ノ全量百ニ對シ齒層ノ量七ニ達セサルモノ」トアリマスルノヲ「齒層ノ量春蠶ニ在リテハ八夏秋蠶ニ在リテハ六ニ達セサルモノ」ト斯ク修正シマシタ譯デゴザイマス、是ハ政府ノ原案ニ於キマシテ、春蠶モ、夏秋蠶モ、齒層ノ量百ニ對シ七トシテアリマスルガ、春蠶ハ普通八以上ハアリマスル、夏秋蠶ニ至リマシテハ、ドウシテモ春蠶ヨリハ二三割落チルト云フノガ事實デゴザイマスカラ、春蠶ニ在リテハ百分ノ八、夏秋蠶ニ於キマシテハ百分ノ六トスルガ事實ニ適當スルト云フ考デアリマス、故ニ委員會ノ一致ヲ以テ修正シタ次第デゴザリマス、次ニ第七條ニ「此蠶種ヲ讓渡シ又ハ輸入スルコトヲ得ス」トアリマスルガ、唯讓渡シ輸入スルト云フダケノ文字デハ、解釋ニ殆ド苦ミマスカラ「賣渡シ又ハ讓渡スルコトヲ得ス」ト、是ハ詰リ文字ノ意義ヲ明ニナルガタメニ、唯文字ノ修正ノミニ止ッテ居リマス、次ハ十二條デアリマス、十二條ノ原案ニ於キマシテハ「蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス」是ハ原案ノ趣意デアリマシタガ、委員會ノ多數ハ蠶種ノ検査ハ國庫ニ重要ノ——國家ニ重要ノ検査デアリマスカラ、國費ヲ以テスルガ當然デアアル、一旦國庫ノ支辨ト云フコトニ決シマシテ、政府委員ニ交渉シマシタ所ガ、政府委員ハ國庫財政ノ都合アリ、悉皆國庫ノ支辨ニハ同意スルコトハ出來ナイト云フコトデアリマスカラ、己ムヲ得ヌ交渉ノ上、國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得ル、斯ノ如ク大體府縣ノ負擔ニシマシテ、國庫ハ其府縣ノ事情ニ依ッテ、半額以內ノ補助スルコトヲ得ル云フ修正ニ改メタ譯デアリマス、此事ニ於キマシテハ、明治十九年ニ蠶種検査法ハ現在實行シテ居リマスガ、是ハ各府縣區々マチノ——ニナリマシテ、其弊害ガ甚シイ、統一ガ出來マセヌ故ニ、現在ノ蠶種規則ハ不完全デ、統一ノ法律ヲ設ケネバナラヌト云フノデゴザリマシタ、然ル以上ハ此費用ヲ悉皆地方ノ負擔ニシマスレバ、詰リ完全ナ法律ガ出來マシテモ、施行上ニ至リマシテハ又、府縣區々ニナリマス、例ヘバ府縣ノ知事ガ希望シテモ、府縣會デ否決スレバ施行ガ出來ナイ、シテ見レバ折角法律ヲ改メテモ、費用ヲ悉皆地方ノ負擔トスルト云フコトデアハ、全國ノ統一ノ検査ハ出來ナイト信ジマス、故ニ國庫ガ半バ補助ヲ與ヘマスレバ、各府縣ニ於テモ、此法律ヲ執行スル上ニモ便利ニナルシ、又國庫ガ監督上全國統一ニ施行スル上ニモ便利ト考ヘマスカラ、委員會ニ於テハ、財政ノ許スマデ一步讓ッテ、其半額ヲ國庫ノ支辨、大體ハ府縣ノ補助ト云フコトニ修正シマシタ、次ニ第二十八條ニ「學術研究ノ爲メ蠶種ヲ製造スル者ハ此法律ヲ適用セス」トアリマスガ、併ナガラ學術研究ノタメト雖モ、蠶種ヲ販賣スルトキハ矢張此規則ニ據ラナケレバナラナイ、單ニ學術研究ニヤッタモノハ、其蠶種ヲ販賣スルコトヲ許サヌト云フ但書ヲ加ヘタ譯デアリマス、ソレカラ第二十條ノ——及第四條ノ規定ハ此ノ法律施行後一箇年間之ヲ適用セス」トアル、第二條丈延バシマスレバ、第四條ハ、此法律ノ施行ノ日ヨリ、直チニ往ッテモ實際差支ナイカラ、第四條丈ヲ削除スルコトニ致シマシタ、ソレヨリ條項ニ對シ修正ヲ致シマシタ、第六條ヲ第八條ニ加ヘルコトニ致シマシタ、是ハ原案ノ第六條ハ、一ノ取除法デゴザイマスカラ、六條、七條ハ第五條ニ續イタ検査法ニナッテ居リマスカラ、原案ノ六

委員ハ二月二十六日ニ始テ開キマシテ、委員長、理事ノ互選ヲシマシタ、其後三月一日、三月三日、三月五日ニ、諸君ニ御報告ノ通修正可決シタ次第デゴザイマス、是ヨリ修正シマシタ處ヲ簡單ニ説明シヤウト思ヒマスガ、第三條ノ第三項「齒層薄弱ニシテ、齒ノ全量百ニ對シ齒層ノ量七ニ達セサルモノ」トアリマスルノヲ「齒層ノ量春蠶ニ在リテハ八夏秋蠶ニ在リテハ六ニ達セサルモノ」ト斯ク修正シマシタ譯デゴザイマス、是ハ政府ノ原案ニ於キマシテ、春蠶モ、夏秋蠶モ、齒層ノ量百ニ對シ七トシテアリマスルガ、春蠶ハ普通八以上ハアリマスル、夏秋蠶ニ至リマシテハ、ドウシテモ春蠶ヨリハ二三割落チルト云フノガ事實デゴザイマスカラ、春蠶ニ在リテハ百分ノ八、夏秋蠶ニ於キマシテハ百分ノ六トスルガ事實ニ適當スルト云フ考デアリマス、故ニ委員會ノ一致ヲ以テ修正シタ次第デゴザリマス、次ニ第七條ニ「此蠶種ヲ讓渡シ又ハ輸入スルコトヲ得ス」トアリマスルガ、唯讓渡シ輸入スルト云フダケノ文字デハ、解釋ニ殆ド苦ミマスカラ「賣渡シ又ハ讓渡スルコトヲ得ス」ト、是ハ詰リ文字ノ意義ヲ明ニナルガタメニ、唯文字ノ修正ノミニ止ッテ居リマス、次ハ十二條デアリマス、十二條ノ原案ニ於キマシテハ「蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス」是ハ原案ノ趣意デアリマシタガ、委員會ノ多數ハ蠶種ノ検査ハ國庫ニ重要ノ——國家ニ重要ノ検査デアリマスカラ、國費ヲ以テスルガ當然デアアル、一旦國庫ノ支辨ト云フコトニ決シマシテ、政府委員ニ交渉シマシタ所ガ、政府委員ハ國庫財政ノ都合アリ、悉皆國庫ノ支辨ニハ同意スルコトハ出來ナイト云フコトデアリマスカラ、己ムヲ得ヌ交渉ノ上、國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得ル、斯ノ如ク大體府縣ノ負擔ニシマシテ、國庫ハ其府縣ノ事情ニ依ッテ、半額以內ノ補助スルコトヲ得ル云フ修正ニ改メタ譯デアリマス、此事ニ於キマシテハ、明治十九年ニ蠶種検査法ハ現在實行シテ居リマスガ、是ハ各府縣區々マチノ——ニナリマシテ、其弊害ガ甚シイ、統一ガ出來マセヌ故ニ、現在ノ蠶種規則ハ不完全デ、統一ノ法律ヲ設ケネバナラヌト云フノデゴザリマシタ、然ル以上ハ此費用ヲ悉皆地方ノ負擔ニシマスレバ、詰リ完全ナ法律ガ出來マシテモ、施行上ニ至リマシテハ又、府縣區々ニナリマス、例ヘバ府縣ノ知事ガ希望シテモ、府縣會デ否決スレバ施行ガ出來ナイ、シテ見レバ折角法律ヲ改メテモ、費用ヲ悉皆地方ノ負擔トスルト云フコトデアハ、全國ノ統一ノ検査ハ出來ナイト信ジマス、故ニ國庫ガ半バ補助ヲ與ヘマスレバ、各府縣ニ於テモ、此法律ヲ執行スル上ニモ便利ニナルシ、又國庫ガ監督上全國統一ニ施行スル上ニモ便利ト考ヘマスカラ、委員會ニ於テハ、財政ノ許スマデ一步讓ッテ、其半額ヲ國庫ノ支辨、大體ハ府縣ノ補助ト云フコトニ修正シマシタ、次ニ第二十八條ニ「學術研究ノ爲メ蠶種ヲ製造スル者ハ此法律ヲ適用セス」トアリマスガ、併ナガラ學術研究ノタメト雖モ、蠶種ヲ販賣スルトキハ矢張此規則ニ據ラナケレバナラナイ、單ニ學術研究ニヤッタモノハ、其蠶種ヲ販賣スルコトヲ許サヌト云フ但書ヲ加ヘタ譯デアリマス、ソレカラ第二十條ノ——及第四條ノ規定ハ此ノ法律施行後一箇年間之ヲ適用セス」トアル、第二條丈延バシマスレバ、第四條ハ、此法律ノ施行ノ日ヨリ、直チニ往ッテモ實際差支ナイカラ、第四條丈ヲ削除スルコトニ致シマシタ、ソレヨリ條項ニ對シ修正ヲ致シマシタ、第六條ヲ第八條ニ加ヘルコトニ致シマシタ、是ハ原案ノ第六條ハ、一ノ取除法デゴザイマスカラ、六條、七條ハ第五條ニ續イタ検査法ニナッテ居リマスカラ、原案ノ六

條ヲ七條ノ次ニ遺ルノガ正當デアラウト云フ、委員會ノ決議デゴザイマス、次ニ原案ノ第十七條、是モ特別ノ取除法デゴザイマスカラ、之ヲ第十六條ノ次ニ加ヘテ第十七條ト修正致シマシタ、此二ツノ條項ノ入替ニ依リマシテ、第十四條、第十五條ノ罰則ノ條項ニ異同ヲ生ジマシタ、ソレカラモウ一ツ、第十四條ニ「第三條」ト云フコトヲ加ヘマシタ、是ハ第三條ノ「蠶種ハ左ニ掲グル蠶ヲ以テ之ヲ製造スルコトヲ得ス」ト、第三條ニ制限ヲ設ケタ以上ハ、之ニ對シテ罰則ガナイハ不鈞合デアラルカラ、「第三條」ノ文字ヲ加ヘタ次第デアリマス、願クハ速ニ御贊成アラント望ミマス

○田中鳥雄君(二百九番) 質問ガアリマス、此第一條ニ「此ノ法律ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種及製絲用種ノ越年スルモノヲ謂フ」年ヲ越スモノヲ謂フト云フ箇條ガアリマス、ソコデ御修正ニナリマシタ第三條ノ第六ニ至ルト「春蠶ニ在リテハ八夏秋蠶ニ在リテハ六」トアル、政府案ニシテ見ルト、私ノ考テハ夏秋蠶ニハ此法律ヲ適用シナイモノト考ヘル、ナゼト云ヘバ越年スル、ソレナラ此法律ガ施行ガ出來ヤウカト考ヘル、御修正ニ依リテ見ルト、夏秋蠶マデ此法ヲ適用シヤウト云フテ見ルト、一條ノ越年ト牴觸スルヤウニ思ハレル、夏秋蠶ニハ如何ナル方法ヲ以テ、短日月ノ間デスカラ、施行ガ出來マスカ

○東尾平太郎君(八十八番) 御答致シマス、蠶種ノ越年スルモノハ春蠶夏秋蠶ニ拘ハラナイ、例ヘバ春蠶デ翌年ヘ越シマスルモノハ——春蠶夏秋蠶ノ區別ガナイガ原案ノ精神デス

○田中鳥雄君(二百九番) マダドウモ分リマセヌ

○東尾平太郎君(八十八番) 春蠶ニシテモ、夏丈ナルナラ検査ハイラナイノデス

○田中鳥雄君(二百九番) ソレデ分リマシタ

○久保九兵衛君(九十六番) 此第十二條ノ國庫ノ半額ノ補助ト云フコトニ就イテ、大體ニ就イテハ委員長ノ報告デ了解致シマシタガ、補助致シマスル金額ハ、ドレバカリニナリマス、御取調ベニナツテ居ルナラ、一應承リタイ

○東尾平太郎君(八十八番) 正確ノモノデハゴザイマセヌガ、政府ノ參考トシテ取調ベマシタ金額ハ、蠶種検査費ノ總額ガ、二十三万二千六百圓二十錢、是ハ検査費モ創立費モ加ヘテデアリマス

○小松三省君(八十番) 本員ハ委員長ヨリ御答ヲ下サレテモ宜シ、又政府委員ヨリ御答ヲ下サレテモ宜シ、數箇條ノ質問ガゴザイマス、先ヅ第一ニ御尋申シタイノハ、此蠶ヲ検査スル標準ト云フモノハ、明カニ此第三條ニ掲ゲテアル、然ルニ此蠶ト卵ヲ検査スル方法ハ十九條デゴザイマス、ソレニ是ハ農商務大臣ガ定ムル所ニ依ルト云フコトニシテアル、然ルニ此蠶種ノ検査ト云フモノハ、確實ナル方法——正確ナル方法ニ依リテ検査ヲシナイト、營業者ハ非常ナル迷惑スルノミナラス、蠶種検査ト云フコトノ目的ハ、此方法如何ニ依リテ、達セラレルト達セラレヌトガ極マルデアラウト思フ、サウシテ見レバ、本員ハ此規則全體ノ中テ最モ重キヲ置クハ、此検査ノ方法ノ如何デアルト思フ、検査ノ方法ニ依リテ、或ハ其效ヲ奏スルコトモアリ、或ハ失敗スルコトモアラウ、全ク検査方法ノ如何ニ依ルコト、信ジマスカラ、本案ニハ掲ゲテナイカ、如何ナル方法ヲ以テ検査スルカ、確實ナル成算ガナケレバナラヌト思ヒマスカラ、此事ヲ承リタイト思ヒマス、先ヅ是ガ第一デゴ

ザイマス、種々質問ヲ重ネルト混雜シマスカラ、先ヅソレダケニ就イテ御答辯ヲ望ミマス

○東尾平太郎君(八十八番) 小松君ノ御尋ハ検査方法ノ手續デゴザイマス、是ハ十九條ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルトアルカラ、政府委員ヨリ答辯スル方ガ宜カラウト思ヒマス

○依田道長君(二百四十七番) 本員モ質問ヲ致シタイ

○議長(鳩山和夫君) 今ノ答辯ガ濟シデカラ……政府委員藤田四郎君

(政府委員農商務省農務局長藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 第五條ノ事柄ト第三條ノ事柄トガ關係シテ、十九條ニ就イテノ御尋デゴザイマス、此検査ノ方法ハ、政府ニ於キマシテハソレレ調査ヲ致シマシテ、且ツ委員會ニ於キマシテモ御尋ガゴザイマシタカラ、菊蕪版ヲ摺リマシテ、ソレデ皆様ニ差上ゲマシテゴザイマシタガ、第三條ノ事柄ハ、主トシテ肉眼ニ依リマシテ検査スルコトヲ掲ゲマシタノデ、即チ第三條ノ事柄ガ主タル検査ノ方針ニナルノデ、今日マデアリマス所ノ卵ノ上ニ於テノ検査デハ、随分不十分ノ處デアルガタメニ、斯ウ云フ様ナル所ノ規定ヲ設ケマシタノデアリマス要スルニ種ノ検査ト云フモノハ即チ健全ナル蠶ヲ以テ作ツタル所ノモノデナケレバナラヌト云フ所カラ、此事ガ出立テマシテ、而シテ第五條ノ所ニ於キマシテハ、原種ト製絲用種トノ區別ヲ廢シマシテ、原種ニ在リマシテハ、今日種ニ於テ検査スル所ノ微粒子ノ検査ヲ廢シマシテ、蛾即チ蝶ニ於キマシテ検査スルコトヲ致スノデ、即チ母蛾ヘ検査スル、母蛾ノ検査ヲ致シテ、其検査シタ所ノモノニ對シテ證明ヲ與ヘテ置キマシテ、出來上ツタモノヲ種紙ト引合セテ合格證ヲ與ヘルノデス、又普通ノ蠶種ニ於キマシテハ、専ラ第三條ノ検査ヲ致シテ、健全ナル蠶ヲ以テ作ツタル所ノ種紙ト云フモノト引合セテ置キマシテ、此検査證書ヲ與ヘルコトニナリマス、ソレ丈ノ御尋ト思ヒマス

○小松三省君(八十番) ソレデハ唯今ノ政府委員ノ御答デハ、此丁度卵ト云フモノハ検査シナイト言フノデスガ、ソレヲ検査スレバ、如何ナルコトニナルカト云フコトヲ御尋シタイ

○政府委員(藤田四郎君) 蛾ノ検査スルノデ、微粒子ノ検査スルノデス

○小松三省君(八十番) 卵ノ検査ハシナイノデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 卵ニ於テ微粒子ノ検査ハ致シマセヌ、母蛾ガ健全デ、微粒子ヲ具ヘナイナレバ、卵ニハ來ナイト云フ考ナノデス

○小松三省君(八十番) 蛾ダケヲ顯微鏡的ニ検査スルト云フノデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 斯ウ云フ譯ニナルノデス、卵ノ検査ナレバ、卵ノ中ニ微粒子ノ發生ガ不十分デ、八月頃ナレバ未ダ微粒子ガ發生シテ居ラナイ、顯微鏡ノ検査モドウモ完全ナルコトヲ得ナイ、然リト雖モ蛾ニ在リテハ完全ニ此検査ヲ行フコトガ出來ルノデス

○小松三省君(八十番) 今ノ御答ハ分リマシタガ、マダ御尋ヲシナケレバナラヌコトガアル、前ニ此政府ヨリ出シタ法案ト思ヒマスガ、其法案ニハ鼠害ヲ受ケタ蠶ニ就イテノ規定ガアツタセウニ思ヒマス、明ニハ蠶エマセヌガ、五十ニ對シテ幾干ノ鼠害ヲ受ケタモノト云フヤウナコトガアツタガ、今日ノ法案ニハ其事ガ取レテ居ル、是ハ政府ノ方デハ、鼠害ト云フモノハ、餘リ害ノナイモノデアルト云フコトヲ御認メニナツテ取ツタノデアリマセウカ、又

○小松三省君(八十番) 今ノ御答ハ分リマシタガ、マダ御尋ヲシナケレバナラヌコトガアル、前ニ此政府ヨリ出シタ法案ト思ヒマスガ、其法案ニハ鼠害ヲ受ケタ蠶ニ就イテノ規定ガアツタセウニ思ヒマス、明ニハ蠶エマセヌガ、五十ニ對シテ幾干ノ鼠害ヲ受ケタモノト云フヤウナコトガアツタガ、今日ノ法案ニハ其事ガ取レテ居ル、是ハ政府ノ方デハ、鼠害ト云フモノハ、餘リ害ノナイモノデアルト云フコトヲ御認メニナツテ取ツタノデアリマセウカ、又

害ハアルケレドモ、是ハ妨ゲナイト云フ御考ヘテ取ツタノデアリマセウカ、其邊ノコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(藤田四郎君) ソレダケデスカ、他ニモアルナラバ同時ニ答ヘマ

○小松三省君(八十番) 検査所ニ要スベキ技師ノ現在數、サウシテ果シテ其技術ハ誤リナキ検査ヲシ得ルダケノ技術ガアルカ、ソレカラモウ一ツハ、若シ全國ニ検査ヲ行フト云フコトニナレバ、検査員ト云フモノハドレダケ要ルノデアアルカ、サウシテ其検査員ノ供給ハドレダケ、與ヘル積デアアルカ、又検査ノ費用ハドレ位要ルカ、ソシテ此職トシテ存在スル期間ハ幾許デアアルカ、春蠶ニセヨ、夏蠶ニセヨ、相違ハアラウガ、大體職トシテ存在スル期間ハドレ位デアアルカ、ソシテ検査員ハ一日ニシテ幾千ノ繭ト職トシテ検査ヲシ得ルモノデアアルカ、ソレカラ検査員ト云フモノハ、種屋ニ於テ検査ヲスルノカ、種屋ガ検査所ニ持ツテ來テ検査ヲスルノカト云フ、是ダケノコトヲ御尋シタイ

○政府委員(藤田四郎君) 御答シマス、第一ノ鼠害ノコトデゴザンシマスガ、鼠害ニ就キマシテ、政府ハ鼠害ヲイゲナイトスルコトニ就イテノ法案ヲ帝國議會ニ出シタヤウニ思フト云フコトデゴザイマシマスガ、サウ云フヤウナ法案ハ一度モ出シタコトハゴザイマセヌ、併ナガラ衆議院若クハ貴族院ニ於キマシテ、此法案ニ關係致シマシテ政府ノ見込ヲ御尋ノトキニ、丁度八十番ノ御尋ノ場合ノ事柄ヲ申シテ置キマシテゴザンスル、即チ鼠害ト云フモノハ、此検査法ニ問フコトヲ要セナイ所ノモノデアアルト云フ側ニ於キマシテ、此箇條ニ載セルコトノ注意ヲ申上ゲタコトガゴザイマセヌ、之ヲ要スルニ鼠害ト云フモノハ、一ノ害デハゴザイマセヌガ、是ハ遺傳ノモノデアハゴザイマセヌデ、ソレガタメニ此繭ヲ喰破ルトカ、蛾ヲ殺ストカ云フコトハゴザイマセヌガ、其蛾ノ中ニ鼠害ノモノガアツテモ、ソレガ發生シテ居ラナケレバ、以テ卵ニマデ其害ヲ及スト云フコトデアハゴザイマセヌ、ソレカラシテ検査所ニ於テ要スル所ノ検査員ノ事柄デゴザイマセヌ、是ハ詳細ナル書附ヲ、委員會ニ於テ諸君ニ蒞蒞版ニシテ差上ゲマシテゴザンスルガ、農商務省ニ於テ設立シテアル所ノ蠶業講習所、又ハ試験所ト云ツタ時分ニアリマス所ノ學校ニ於キマシテ、卒業致シマシタ所ノ者ガ、千二百餘名アルカト思ヒマス、加之長野縣ノ蠶業學校、小縣地方ノ蠶業學校、其他各府縣ニ於テ隨時行ツタ所ノ試験所若クハ學校等ヲ卒業シタモノガ多分ニゴザイマセヌ、ソレガタメニ原種ニ對シテノ蛾ヲ検査ヲスル所ノ人トシテハ、今日差支ノナイ見込デアリマス、且現在(小松三省君

「ソレハ何人程」ト呼フ)數ヲチヨット覺エテ居リマセヌガ、二千人以上アリマス、ソレカラシテ養蠶家若クハ種屋ニ於キマシテ、顯微鏡ヲ振ツテ居ルモノモ亦アリマス、又今日ニ於キマシテモ、府縣ニ於テ取締規則ヲ施キ、或ハ組合ニ於テ検査スル人モ多分ニゴザイマセヌカ、其方ノ人トシテハ少モ差支ヲ生ジナイ積デアリマス、且此検査法ニ依リマシテ検査ヲスル人ハ、凡ソ俸給ニ於キマシテハ、八十錢カラ一圓位ノ日給ノ割テ適當デアラウト思ヒマス、又之ガ補助員トナル所ノモノハ、凡ソ半額ト云フ所ノ見込デアリマス、而シテ此様ナル方針ニ依リマシテ、近日數ヲ以テ調ベマシタノガアリマスガ、ソレニ依リマシタ所ノ一切ノ經費ハ、先刻委員長ヨリ御答ガアリマシタ通、凡ソ二十三萬圓位要ル積デアゴザイマセヌ、私ハ蒞蒞版ヲチヨット持ツテ居リマセ

ヌカラ、數字ヲ以テハツキリト申上ゲル譯ニ行キマセヌガ、取寄セテ御覽ニ入レマス(小松三省君「検査所ノ費用ハ一切デスカ」ト呼フ)一切ノ費用ヲ申上ゲマシタ、ソレカラシテ其他ノコトハモウゴザイマセヌカ(小松三省君「蛾トシテ存スルカ」ト呼フ)ソレカラ蛾トシテ存スルハ或ハ數月ニ過ギマセヌガ、検査トシテハソレハ十分ノ間合アルコトニナツテ居ル、種屋ニ就イテスルカ否ヤデスカ、是ハ繭ト收繭後ノ検査ト云フモノデアリマスガ、蝶ヲ見ルノデアアルカ、蝶ハ即チ或處ニ持ツテ往ツテアリマスガ、一度ハ第三條ノモノニ就キマシテハ、種屋ニ就キマシテ検査スルコトニナリマス、第五條ノ事柄ニ就イテ、收繭後蛾及卵ノ検査ニ就キマシテハ、或ル處ニ固メテ致サウニナリマス、ソレニハ繭ハ持ツテ來テ宜イヤウニナリマス

○依田道長君(二百四十七番) 質問致シマス、先程田中君ガ質問致シマシタガ、是マデハ検査ハ致シタコトハアリマセヌヤウニ考ヘマスガ、ソレデ秋蠶ニハ検査ヲ爲スハ頗ル至難ナルコトガアリマス、此長野縣ニ多ク出來マス種デアリマスガ、夏蠶カラ發生シテ秋蠶ニ變ズル種デアリマスガ、其種ノ發スルハ僅ノ間十日カウコラデ其種ハ發生スルガ、サウ云フモノニ就イテモ矢張検査ガアリマスガ、僅々ノ日數ニシテ發生シテシマフモノガアル

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスガ、田中君ノ御尋、アナタノ御尋ノコトニ就イテハ、先刻委員長ヨリ御答ノ通デゴザイマセヌ、養蠶ニ夏蠶ト云ヒ、秋蠶ト云ヒ、春蠶ト云ヒ、共ニ其繭カラ出タ蛾ヨリ産ミ出シタル卵ノ越年スル場合ヲ規定シタノデアアルカラ、アナタノ御尋キナサレタ場合ノ如キハ此検査法ニ據ルモノデアゴザイマセヌ

○新井毫君(二百三十一番) 此第二條ノ修正ニハ政府ハ同意ナンドスカ、國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得ト云フコトニハ……

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ委員會ニ於キマシテ政府ノ確答ヲ得タイト云フ御尋デゴザイマシタカラ、委員會ニ於テ政府ノ答ヲ致シテ置キマシタガ、此答ノ趣意ハ、政府トシテハ原案ヲ出シタモノデアリマスガ、成ルベク原案ニ御贊成ヲ希望スルノデアリマス、併ナガラ本院ニ於キマシテ、ドウシテモ是丈ノ補助ヲ要スルト云フ決議ヲセラル、場合ニ於テハ、固ヨリ事柄ガ惡ルイコトデアゴザイマセヌカラ、勉テ此目的ノ副フヤウニ致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス

○議長(鳩山和夫君) 小松三省君

(小松三省君演壇ニ登ル)

○小松三省君(八十番) 本員ハ此案ニ反對ノ意見ヲ持ツテ居ル者デアゴザイマスカラ、聊カ反對ノ意見ヲ述ベテ置カウト思ヒマス、私ガ此案ノ全體ノ精神ヲ見マスルト、此案ト云フモノヲ——此案ヲ出シタ政府ノ意モ、法律ノ力ト政府ノ威力ト云フモノヲ過度ニ信シテ居ルモノト思ハレバ、又此案ヲ贊成シヤウト云フ諸君モ、法律ノ力ヲ過度ニ信ジ、政府ノ威力ト云フモノヲ過度ニ信シテ居ルモノト思フ、是マデハ民間ニ於テ神ノ力ヲ妄信シ、宗教ノ力ヲ妄信シタ時代ニ於テハ、凶作ノ傾ガアルトカ、早魘ノ傾ガアルトカ、或ハ雨ガ非常ニ降り過ギル、洪水ガ出ルト云フコトニ就イテ、何時モ神サンニ祈ツテ此利益ヲ得テ、五穀豐饒ヲ希望シタモノデアアル、今日ハ神ヲ妄信スル力ハ既ニ衰ヘタガ、法律ヲ妄信シ政府ヲ妄信シテ、此威力、此力ニ依ツテカラ、

○小松三省君(八十番) 本員ハ此案ニ反對ノ意見ヲ持ツテ居ル者デアゴザイマスカラ、聊カ反對ノ意見ヲ述ベテ置カウト思ヒマス、私ガ此案ノ全體ノ精神ヲ見マスルト、此案ト云フモノヲ——此案ヲ出シタ政府ノ意モ、法律ノ力ト政府ノ威力ト云フモノヲ過度ニ信シテ居ルモノト思ハレバ、又此案ヲ贊成シヤウト云フ諸君モ、法律ノ力ヲ過度ニ信ジ、政府ノ威力ト云フモノヲ過度ニ信シテ居ルモノト思フ、是マデハ民間ニ於テ神ノ力ヲ妄信シ、宗教ノ力ヲ妄信シタ時代ニ於テハ、凶作ノ傾ガアルトカ、早魘ノ傾ガアルトカ、或ハ雨ガ非常ニ降り過ギル、洪水ガ出ルト云フコトニ就イテ、何時モ神サンニ祈ツテ此利益ヲ得テ、五穀豐饒ヲ希望シタモノデアアル、今日ハ神ヲ妄信スル力ハ既ニ衰ヘタガ、法律ヲ妄信シ政府ヲ妄信シテ、此威力、此力ニ依ツテカラ、

諸願ヲ成就致サウト云フ人ガ大ニ増加シタト云フコトハ明ニ認メ得ラル、事柄ゴザイマス、即チ此法案ガ此議會ニ出テ、議員中今日此法案ニシヤウト云フ人ノ多クナルコトヲ見テモ、亦此議員中宗教ヲ妄信スルノ力ハ衰ヘタケレドモガ、法律ノ力ヲ妄信シテ此力ニ依ツテカラ、國家ヲ富マサウト云フ考ヲ以テ、自ラ働キ自ラ動キ自カラ主唱者トナツテカラ、國家ノ繁榮ヲ來サウト云フ考ノ人ハ誠ニ少ナイト云フコトガ分ル、諸君ガ此蠶種検査法ト云フモノヲ以テ、即チ日本ヲ富マサウ、蠶業ノ發達ヲサ、ウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルガ、是ハ大イナル間違デアアル、私ハ敢テ豫言者ノ名譽ヲ街フノデハナイガ、此法案ガ兩院ヲ通過シテ實施セラレテ後二年ヲ出デヌ間ニ、諸君ノ必ズ法律ヲ通過シ、此法律ヲ執行シタノハ失敗デアツタト云フ、臆ヲ囁ムノ時代ガ來ルデアラウト云フ、私ハ此演壇ニ立ツテ敢テ今日ヨリ豫言者ノ名譽ヲ得タイト思フ、必ズ此法律ハ三年ヲ出デズシテ失敗スベキ法律デアアル、效能ノナイ法律デアアルト云フコトヲ今日カラ斷言シテ置キマセウ、凡ツ此、人ノ營業、一國ノ産業ニ向ツテ檢束ヲ行フト云フ場合ニ當ツテハ、確實ナル理由、確實ナル學理、確實ナル實驗ガアツテ、此方法ニ依レバ決シテ誤リガナイト云フコトヲ必シタ以上ニ於テ、始テ人ノ營業ニ干渉シテカラ、幾分カ其自由ヲ殺グト云フコトノ結果ニ至ルモノデゴザイマス、斯ノ如キコトハ宜カラシ、斯ノ如キコトヲスレバ或ハ利益アラント云フヤウナ假設的ノ推測ヲ以テ、直往輕進シテ直チニ之ヲ法律ノ上ニ現シテ其效力ヲ國中ニ逞ウセシムルト云フコトニナツタナラバ、實ニ危險極ル次第デゴザイマス、私ハ此蠶種検査法ト云フモノハ、即チ不確定ナコト、不經驗ナコト、未ダ學理ニ於テ確立セザルコトヲ濫リニ採用シテ、直往輕進直チニ我實業者ノ頭上ニ加ヘルト云フ案デアアルト云フコトヲ確信スルノデアリマス、試ニ其理由ヲ言ヒマセウ、此検査規則ト云フモノハ、如何ナル仕組ニ依ツテ出來テ居ルモノデアアルカ、私ハ是ハ實ニ營業者ガ或ル妨害ヲ免レヤウトスルノ結果ト、政治家ガ或ル效力ヲ妄信スル結果ニ依ツテ、出來タモノト斷言スル、サウシテ此検査ノ方法ト云フモノハ決シテ確然トシテ動スベカラザル學理ニ基イタモノデアナイ、又實驗ニ基イタモノデアナイト云フコトヲ信ズルモノデアアル、國庫ガ二十萬圓ノ金ヲ出シ、検査員ヲ全國ニ派シテカラ、此大事業ヲヤルト云フコトニナレバ、必ズ確實ナル基礎ノ上ニ立タナケレバナラナイ、然ルニ此本案ハ確實ナリト云フ點ニ於テ大ニ欠ケル所ガアル、私ハ政府ガ斯ル検査法ヲ制定シテ、サウシテ之ヲ我實業者ノ上ニ加フルト云フノ大膽ナルニ驚クノミデゴザイマス、サウシテ私ハ其結果一モナイト確信スル者デアアル、試ニ御覽ナサイ、蠶ノ検査デアアル、蛾ノ検査デアアル、之ガ如何ナル學理ニ基キ、如何ナル實驗ニ基イテ居ルモノデアアルカ、私ハ今日ニ於テ尙ホ未決問題ニ屬スルモノガ多ク思フ、同功繭ノ如キハ、現ニ是ヲ以テ蠶種ヲ製造スルコトガ出來ヌト云フコトヲ明言セラレテ居ル、二三合同シテ造リタル繭、即チ同功繭デアアル、此同功繭ヲ蠶種ニ用ユルコトガ出來ナイト云フコトヲ斷定セラレテ居ル、然ルニ同功繭ト云フモノハ、全ク蠶種トシテハ不用ナモノデアアツテ、實檢上悉ク役ニ立タナイモノデアアルト云フコトハ、未定ノ問題デアアル、一部分ノ人ハ同功繭ハ宜イト言フガ、一部分ノ人同功繭尙ホ可ナリト言フモノガアル、斯ノ如ク實業家ノ間テ意見ヲ異ニスルモノガアル、或ル極端ノ論者ニスレバ、

同功繭ト云フモノハ寧ロ強健ナル蠶種ヲ造ルモノデアアル、サウシテ強健ナル蠶種ガ一度同功繭ヲ造ツテモ、ソレガ次ノ年ニ及バナイト云フコトヲ實驗シ且ツ之ヲ主張シテ居ルモノガアル、サウシテ見レバ、政府ガ此法案ニ於テ二三合同シテ造リタルモノハ、無効ナモノデアアル、有害ノモノデアアルト云フ斷定ハ、他ノ一方ニ於テ斯ル實驗ヲ致シタモノガアル、斯ル實驗ヲ以テ主張スル論者ガアルト云フコトニ至ツテハ、未決ノ問題デアアルト云フハナケレバナナイ、政府ニハ決シテ神以上ノ力ハナイ、此同功繭ガ果シテ無用ノモノデアルト斷定スルノ材料ハ、今日ニ於テ未ダ足ラザルモノデアアル、要スルニ斯ル同功繭ヲ禁制スルト云フコトハ、確實ナル證據ニ依ツタモノデアナイ、殆ド推測ト云フテモ宜イ、又或ル一點ニ就イテハ此蠶ノ厚薄、或ハ形ノ奇形ノ如キモノモサウデアアル、成ル程繭トシテ貴ブベキ所ハ、極ク緻密ナ形ノ正シイモノガ宜イニ相違ナイ、然ルニ形ノ正シイ蠶、極ク緻密ナ形ノ正シイモノハ、二層弱ナモノデアアル、總テノ動物ハ上等ナモノ程層弱ニシテ、機關ノ緻密ナルモノ程層弱デアアルト云フ原理ノ動スベカラザル如ク、繭ニ至ツテモ其通アル、善イ繭ヲ造リ、形ノ正シイ繭ヲ造ルモノハ、餘程層弱ナ蠶ニシテ、其飼養ハ實ニ骨ガ折レル、形ノ正シイ繭ヲ造ルモノハ、餘程層弱ナ蠶ニシテ、其飼養ハ實ニ骨ガ折レル、餘程熟練ナル養蠶家デアナイト、斯ル蠶ヲ飼養スルコトガ出來ナイコトデアアル、所謂百中ノ一ト云フモノハ、斯ル立派ナ繭ヲ造ツテ、博覽會ニ出シ、外國市場ニ向ツテ喝采ヲ博スルコトガ出來マセウ、併ナガラ養蠶家ノ九十九ト云フモノハ、多クハ素人デゴザイマス、素人ノ造ルモノハ、一切拒絶シテシマツテ、少數ナル飼養者ノ得ル蠶種ノミヲ以テスルト云フコトニナツテハ、日本國中百中ノ九十九マデハ、斯ル善美ナルモノヲ造レナイト云フ結果ニ至ツテ、全體ノ蠶業ノ上ニ非常ノ影響ガ起ル、則チ不熟練ニシテ飼ヒ易イ蠶ヲ飼フテ、多少粗惡ナル繭ヲ造ルト云フコトニ就イテハ、モウ今日望ミナイコトデアアル、國中ノ立派ニ繭ヲ造ル者ハ少數デ、其外ノ者ハ目的ヲ達セズ、破産ヲスルトカ、將來其業ヲ廢メルト云フ結果ガ起ルノデアアル、即チ斯ル上品ナルモノハ、ミ造ラサウト云フ結果ハ、極ク上等ナル養蠶家ヲ存シテ、下手ナ者ハ驅逐シテシマフト云フ法案ニ過ギナイノデアリマス、必シモ斯ル法案ガ行レタ以上ハ日本國中ニ於テ非常ニ不利益ナ結果ガ生ズルデアラウト思フ、ソレカラ又此蛾ニ於テ之ヲ検査スルト云フコトデアアルガ、顯微鏡的ニ蛾ニ於テ検査スル、即チ微粒子毒ヲ検査スルト云フコトデアアルガ、微粒子毒ト云フモノハ、害ハ固ヨリアルガ、凡ツ養蠶家ト云フモノハ、各自ニ自家ノ營業ニ注意シ、自家ノ利敗ニ注意スルモノデアラカラシテ、微粒子毒ノ非常ニ澤山ニアル、蠶兒ノ斃レルト云フ種ヲ買フテカラ、自カラ喜ンデ蠶ヲ養フト云フ危險ヲ冒ス者ハナイノデゴザイマス、又政府ガ微粒子毒ヲ検査スルト云フケレドモガ、微粒子毒ガ縱令アツタ所ガ、此又飼養ノ方法ニ依ツテハ、蠶兒ノ發育ト云フモノハ、好成績ヲ得ルモノデアゴザイマス、即チ此農科大學ノ實驗ニ依リマスナレバ、蠶兒ノ體中ニハ或ル血球、一種ノ血球ガアツテカラ、ソレガ微粒子毒ヲ包ンデ、強健ナル蠶兒ノ内ニアル微粒子毒ハ、其毒ヲ發生サセヌ、勿論是ハ飼養ニ依ルモノデアアル、區々タル顯微鏡検査ハ、今日ノ實驗上、又ハ學術上ノ經驗ガアルニモ拘ラズ、敢テ斯ル法案ヲ提出シテカラ、實業者ヲ煩スト云フコトハ、私ハ何タル理由カ殆ド了解ニ苦シムノ

デゴザイマス、殊ニ此検査官デス、殊ニ此検査ノ役人デス、僅カ養蠶ノ検査ヲスベキ機關中、即チ検査期限中一日七八十錢ノ日當、若クハソレヨリ以下ノ日當ヲ取ツテカラ、サウシテ此蠶種ノ検査ヲスルモノデゴザイマス、斯ル人ガ果シテ清廉ナラ、縦シ其技術ハ十分ニアルニシテ所ガ、私ハ技術ノ點ニ於テモ疑フガ、縦シ其技術ハ十分ニアルニシテ所ガ、私ハ技術ノ點疑ガアル、養蠶家ノ此蠶種ニ關スル利害ト云フモノハ、非常ニ大イナルモノデゴザイマス、検査ノ合格不合格ハ、忽チニ數千圓ノ身代ニ影響及スモノデゴザイマス、此一人ニシテ數千圓ノ損害ヲ検査ノ合否ニ依ツテ被ルベキ検査人ノ真中ニ、僅ニ日當七八十錢ノモノヲ置イテ、諸君ハ其清廉ノ期スルトガ出來ルト思フカ、千圓ノ利害、數千圓ノ利害ヲ持ツテ居ル蠶種家ハ、必ズ此検査ニ向ツテカラ言フベカラザル勢力ヲ逞ニスル手段ヲ執ルニ相違ナイ、諸君ガ全國ノ蠶業界ニ向ツテカラ、此検査役人ヲ數千人放ツタ結果ハ、即チ微粒子毒ヨリモ尙ホ危険ナル所ノ豎鼻横目ノばちるれんヲ養フト云フコトハ、諸君ガ覺悟シナケレバナラヌ、私ハ寧ロ此微粒子毒ヨリハ尙ホ此検査員ト云フばちるれんガ怖ハ、此害ガドレ程ノ害ヲ及スニ至ルカ、私ハ殆ド豫測スベカラザルモノデゴザイマス、諸君ガナイトハ言ヘヌ、凡ソ制度ノ結果ニハ表面ト裏面トアル、表面ノ利ニハ必ラズ裏面ノ害ト云フモノハ伴ウテアル、況ハ此蠶種検査人ノ如キヤ、蠶業人ハ一人モナカラウト思フ、サウシテ見レバ斯ル大丈夫ダト必然之ヲ保證スル人ハ一人モナカラウト思フ、サウシテ無効力デゴザイマス、畢竟此農商務省ト云フモノハ誠ニ困ルデアル、實ニ困ルデアル、不確定ナコトヲ確實ラシク報道シテカラ、大イニ蠶種家杯ヲ誤ルコトガ往々ニアル、確實ナルコトヲ言フベ宜シイ、サウシテ又之ヲ或一個ノ論說トシテハ、如何ニ蠶業界ニ流布スルモ宜シイ、然ルニ農商務省ガ是迄人ヲ勸誘シ、人ヲ勸メテ見ル所ヲ見ルト云フト、實ニ一時ハ赤熱ガ宜イトカ云フテ、全國ヘ盡ク勸メテ見ル、サウシテ全國ノ蠶業家ヲシテ、赤熱ノ熱ヲラザレバ一モ效ガナイト云フガ如ク妄信ヲセシメテ、相率井テ赤熱ヲ養フトコトニナツタデゴザイマスガ、今日ノ結果ハドウデゴザイマスカ、却テ其反對ノ結果ニナツテ居ルノデゴザイマス（單簡ヲ要ス）ト呼フ者アリ）又今日亞米利加、歐羅巴ノ蠶業觀察ニ往ツテ歸ツテ來タ者ガ、日本ノ桑ノ萎縮病ハ其原因ガ、日本ハ刈桑ニスルカガ惡ルイ、刈桑ガ即チ萎縮病ノ原因ダト云フコトヲ言フ、然ルニ何故ニ刈桑ガ萎縮病ノ原因ニナルカ、學理的ニ未ダ證明セラレタ人ハナイ、却テ此萎縮病ヲ恐レテカラ、桑ヲ長ク肥ラシメ折ニハ、ソレニ反對スル更ニ大イナル不利益ヲ受ケルト云フコトハ、即チ彼ノ害デゴザイマス、斯ノ如キ未決問題ヲ、滔々ト全國ノ蠶業界ニ流布スルニ至ツテハ、私ハ其大膽ニ驚ク、又近來日本ノ蠶ハ實ニ善クナイ、支那ガ宜シイ、伊太利ガ宜シイ、佛蘭西ガ宜シイ、恰モ昔人種改良論ヲ唱ヘテ、日本ノ人種ヲ悉ク赤髮ニシテシマフト云フ論ヲ唱ヘタ如ク、今日ノ農商務省ノ人ノ中ニ、日本ノ蠶ハ惡ルイ、宜シク支那ヲ取ルベシ、佛蘭西、伊太利ト云ツテカラ主張シテ居ル者ガアル、恰モ是ハ不確定ナル土臺ノ上ニ樓閣ヲ築イタト同シデアル、果シテ風土氣候ノ上ニ、自然ノ境遇ノ上ニ、如何ナル蠶ノ上ニ變化ガアルカ、蠶種ノ上ニ變化ガアルカト云フコトヲ能ク極メテ、動スベカラザル基

礎ノ上ニ、學理ト云フ實驗ヲ立テ、然ル後始テ蠶業界ニ向ツテカラ、有效ナル農商務省ノ勢力ヲ加ヘルガ宜シイ、斯ル誠ニ薄弱ナ、朝ニ定メテ夕ニ變ルヤウナコトヲ蠶業界ニ流布シテカラ、サウシテ始終蠶業界ヲシテ適從スル所ヲ知ラザラシムルト同一ニ、又斯ル不確定ナル原理ノ上ニ築カレタ案ヲ出シテカラ、サウシテ兩院ノ贊成ヲ得テカラ、之ヲ蠶業界ニ行フト思ヒマス、私ハ此案ガ蠶業界ニ行ハレタ結果ハ、即チ二三年ノ内ニ蠶業界ガ大イニ此非ヲ悔ヒテ後悔スル時代ガアル、其時ニナツテドウカ私ヲ豫言者——先見ノ明ガアツタト云ハセヌヤウナ御覺悟ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 極ク簡單ニ申上ゲマス、討論終結ノ動議モ出テ居ルコトデゴザイマス、極ク簡單ニ申上ゲマス、唯今小松君カラシテ本案ニ就キマシテ、或ハ威力ヲ藉ルトカ、法律ノ力ト云フヤウナル言葉ニ依ツテ、此言フ事柄ハ法律トスルモノデナイト云フヤウナ意味ヲヤウニ聽キマシテゴザイマスガ、是ハ實ニ小松君ノ言ハレバナリヤウナ事柄デアツテ、實ニ國家ノタメニ必要デアルト云フコトヲ言ハナケレバナリヤウナ事柄デアツテ、實ニ國ノ講釋ヲ私ガ此處デアルト必要ハナイガ、要スルニ法律ト云フモノハ、即チ制裁ヲ付ケル所ノモノデアアル、或ハ種屋ニハ不便モアルニ相違ナイ、自分ノ家ニ蠶ヲ造ラズ置イテ、餘所カラ種ヲ買ツテ來テ造ル人ハ不便ナラズ、併ナガラ先刻小松君ガ御話ニ養蠶家ガ惡ルイ、害ガアル所ノモノカラ出來ル所ノモノデ、種ヲ造ツタモノヲ買フト云フ譯ハナイト云フ御話デゴザイマスガ、養蠶家ト種屋トハ違フノデアアル、種屋ト云フモノハ、即チ惡ルイモノカラデモ持ヘテ、賣レサヘスレバ宜イト云フノガ第一ニナルノデアアル、養蠶家ハ卵ヲ買フノデ、卵ヲ買ツテ養蠶ヲ仕立テ、掃立テルノデアアル、故ニ其蠶ノドウ云フモノヲ拵ヘタト云フコトハ知ラナイノデアアル、一々銘々ガ顯微鏡ヲ検査スル養蠶家デアリサヘスレバ宜シイガ、ソレハ出來マセヌ、種屋ガ何處デモ持ツテ居ルカト云フト、持ツテ居ラヌ、中ニハ持ツテ居ルモノアリマセウガ——ソレデアリマス、ルガラシテ、惡ルイモノヲ賣ラレバ、切角畑ニ作ツタ所ノ桑ヲ以テ、努力ヲ加ヘテ蠶ヲ作ツタ所ガ、出來ナイト云フ結果ヲ生ズルノデアアル、即チ是ハ害ヲ他人ニ及ボスト云フモノデアアル、自分一己ノ利害ト云フダケナラバ、法律ト云フモノハ勉テ避ケルガ必要デアリマスガ、是ハ即チ種ノ善惡ニ依ツテ害ヲ他人ニ及ボスノデアリマスカラ、ソレ故ニ法律ノ力ニ依ラナケレバナラヌト云フコトガ生ズルノデアアル、而シテ此検査ノ事柄ガ不十分デアアル、不確定デアアルト云フコトヲ御話ガアリマシタガ、微粒子ノコトニ就イテモ云々御話ガアリマシタガ、併シ此案ノ文章ハ暫ク措イテ、事柄ト云フモノハ、農商務省ニ於テモ多年調査シタコトガアル、其骨髓ノ所ハ皆民間ノ營業者モ知ツテ居ルノデゴザイマス、俄ニ之ヲ作ツテ此處ニ出シタト云フ譯デハナイノデアアル、ソレデゴザイマス、俄ニ之ヲ作ツテ決シテソレナニ俄ノモノデハナイ營業者モ能ク心得テ居ルノデアアル、而シテ此事柄ハ検査上ノコトニ就イテ、學者ノ意見ト違フト云フヤウナコトハ一ツモナイノデアリマス、微粒子ヲ卵ノ中カラ検査スルト云フノハ、期節ニ依ツテ不十分ナコトハアルノデアアル、又或ハ農科大學ノ學士、或ハ博士杯ノ意見ニ依リマス、ソレハ検査ノ仕方ガ蠶ニ微粒子ノアツタノヲ、十分洗ヒ切ラ

ルコトデゴザイマス、極ク簡單ニ申上ゲマス、唯今小松君カラシテ本案ニ就キマシテ、或ハ威力ヲ藉ルトカ、法律ノ力ト云フヤウナル言葉ニ依ツテ、此言フ事柄ハ法律トスルモノデナイト云フヤウナ意味ヲヤウニ聽キマシテゴザイマスガ、是ハ實ニ小松君ノ言ハレバナリヤウナ事柄デアツテ、實ニ國家ノタメニ必要デアルト云フコトヲ言ハナケレバナリヤウナ事柄デアツテ、實ニ國ノ講釋ヲ私ガ此處デアルト必要ハナイガ、要スルニ法律ト云フモノハ、即チ制裁ヲ付ケル所ノモノデアアル、或ハ種屋ニハ不便モアルニ相違ナイ、自分ノ家ニ蠶ヲ造ラズ置イテ、餘所カラ種ヲ買ツテ來テ造ル人ハ不便ナラズ、併ナガラ先刻小松君ガ御話ニ養蠶家ガ惡ルイ、害ガアル所ノモノカラ出來ル所ノモノデ、種ヲ造ツタモノヲ買フト云フ譯ハナイト云フ御話デゴザイマスガ、養蠶家ト種屋トハ違フノデアアル、種屋ト云フモノハ、即チ惡ルイモノカラデモ持ヘテ、賣レサヘスレバ宜イト云フノガ第一ニナルノデアアル、養蠶家ハ卵ヲ買フノデ、卵ヲ買ツテ養蠶ヲ仕立テ、掃立テルノデアアル、故ニ其蠶ノドウ云フモノヲ拵ヘタト云フコトハ知ラナイノデアアル、一々銘々ガ顯微鏡ヲ検査スル養蠶家デアリサヘスレバ宜シイガ、ソレハ出來マセヌ、種屋ガ何處デモ持ツテ居ルカト云フト、持ツテ居ラヌ、中ニハ持ツテ居ルモノアリマセウガ——ソレデアリマス、ルガラシテ、惡ルイモノヲ賣ラレバ、切角畑ニ作ツタ所ノ桑ヲ以テ、努力ヲ加ヘテ蠶ヲ作ツタ所ガ、出來ナイト云フ結果ヲ生ズルノデアアル、即チ是ハ害ヲ他人ニ及ボスト云フモノデアアル、自分一己ノ利害ト云フダケナラバ、法律ト云フモノハ勉テ避ケルガ必要デアリマスガ、是ハ即チ種ノ善惡ニ依ツテ害ヲ他人ニ及ボスノデアリマスカラ、ソレ故ニ法律ノ力ニ依ラナケレバナラヌト云フコトガ生ズルノデアアル、而シテ此検査ノ事柄ガ不十分デアアル、不確定デアアルト云フコトヲ御話ガアリマシタガ、微粒子ノコトニ就イテモ云々御話ガアリマシタガ、併シ此案ノ文章ハ暫ク措イテ、事柄ト云フモノハ、農商務省ニ於テモ多年調査シタコトガアル、其骨髓ノ所ハ皆民間ノ營業者モ知ツテ居ルノデゴザイマス、俄ニ之ヲ作ツテ此處ニ出シタト云フ譯デハナイノデアアル、ソレデゴザイマス、俄ニ之ヲ作ツテ決シテソレナニ俄ノモノデハナイ營業者モ能ク心得テ居ルノデアアル、而シテ此事柄ハ検査上ノコトニ就イテ、學者ノ意見ト違フト云フヤウナコトハ一ツモナイノデアリマス、微粒子ヲ卵ノ中カラ検査スルト云フノハ、期節ニ依ツテ不十分ナコトハアルノデアアル、又或ハ農科大學ノ學士、或ハ博士杯ノ意見ニ依リマス、ソレハ検査ノ仕方ガ蠶ニ微粒子ノアツタノヲ、十分洗ヒ切ラ

ルコトデゴザイマス、極ク簡單ニ申上ゲマス、唯今小松君カラシテ本案ニ就キマシテ、或ハ威力ヲ藉ルトカ、法律ノ力ト云フヤウナル言葉ニ依ツテ、此言フ事柄ハ法律トスルモノデナイト云フヤウナ意味ヲヤウニ聽キマシテゴザイマスガ、是ハ實ニ小松君ノ言ハレバナリヤウナ事柄デアツテ、實ニ國家ノタメニ必要デアルト云フコトヲ言ハナケレバナリヤウナ事柄デアツテ、實ニ國ノ講釋ヲ私ガ此處デアルト必要ハナイガ、要スルニ法律ト云フモノハ、即チ制裁ヲ付ケル所ノモノデアアル、或ハ種屋ニハ不便モアルニ相違ナイ、自分ノ家ニ蠶ヲ造ラズ置イテ、餘所カラ種ヲ買ツテ來テ造ル人ハ不便ナラズ、併ナガラ先刻小松君ガ御話ニ養蠶家ガ惡ルイ、害ガアル所ノモノカラ出來ル所ノモノデ、種ヲ造ツタモノヲ買フト云フ譯ハナイト云フ御話デゴザイマスガ、養蠶家ト種屋トハ違フノデアアル、種屋ト云フモノハ、即チ惡ルイモノカラデモ持ヘテ、賣レサヘスレバ宜イト云フノガ第一ニナルノデアアル、養蠶家ハ卵ヲ買フノデ、卵ヲ買ツテ養蠶ヲ仕立テ、掃立テルノデアアル、故ニ其蠶ノドウ云フモノヲ拵ヘタト云フコトハ知ラナイノデアアル、一々銘々ガ顯微鏡ヲ検査スル養蠶家デアリサヘスレバ宜シイガ、ソレハ出來マセヌ、種屋ガ何處デモ持ツテ居ルカト云フト、持ツテ居ラヌ、中ニハ持ツテ居ルモノアリマセウガ——ソレデアリマス、ルガラシテ、惡ルイモノヲ賣ラレバ、切角畑ニ作ツタ所ノ桑ヲ以テ、努力ヲ加ヘテ蠶ヲ作ツタ所ガ、出來ナイト云フ結果ヲ生ズルノデアアル、即チ是ハ害ヲ他人ニ及ボスト云フモノデアアル、自分一己ノ利害ト云フダケナラバ、法律ト云フモノハ勉テ避ケルガ必要デアリマスガ、是ハ即チ種ノ善惡ニ依ツテ害ヲ他人ニ及ボスノデアリマスカラ、ソレ故ニ法律ノ力ニ依ラナケレバナラヌト云フコトガ生ズルノデアアル、而シテ此検査ノ事柄ガ不十分デアアル、不確定デアアルト云フコトヲ御話ガアリマシタガ、微粒子ノコトニ就イテモ云々御話ガアリマシタガ、併シ此案ノ文章ハ暫ク措イテ、事柄ト云フモノハ、農商務省ニ於テモ多年調査シタコトガアル、其骨髓ノ所ハ皆民間ノ營業者モ知ツテ居ルノデゴザイマス、俄ニ之ヲ作ツテ此處ニ出シタト云フ譯デハナイノデアアル、ソレデゴザイマス、俄ニ之ヲ作ツテ決シテソレナニ俄ノモノデハナイ營業者モ能ク心得テ居ルノデアアル、而シテ此事柄ハ検査上ノコトニ就イテ、學者ノ意見ト違フト云フヤウナコトハ一ツモナイノデアリマス、微粒子ヲ卵ノ中カラ検査スルト云フノハ、期節ニ依ツテ不十分ナコトハアルノデアアル、又或ハ農科大學ノ學士、或ハ博士杯ノ意見ニ依リマス、ソレハ検査ノ仕方ガ蠶ニ微粒子ノアツタノヲ、十分洗ヒ切ラ

ズニヤツタリスルト云フヤウナ話ニ過ギヌノデアケレドモ、此事ハ自ラ其人ノ検査方法ニ過ギナイノデアアル、況ヤ蛾ニ於テ——検査ノ法ニ於テ最モ確實ニサレレノデアリマス、此又血球ト云フモノカラ出ル所ノ云々デゴザイマシタガ、是ハ詰リ人間デモ同ジコトデアアル、總テノ動物ハ皆同ジデ、身體ノ強健ナル人ハ、自分ニ幾分ノ害ヲ飲シテモ、病ニ打勝チ得ルト云フコトハ、或ル格段ノ場合ニアルノデアアル、又同功蘭ノコトニ就イテエライ議論デアリマシタガ、二ツ一緒ニ窮屈ニ産出シタノト、一ツデ當リ前ノ産出ニ依リテ生活シタノト、ドチラガ宜イカト云フト、功同蘭ノ惡イト云フコトハ當リ前ト思ヒマス、固ヨリ二子ニモエライ人ガアルデアリマセウ、同功蘭ニモ宜イモノガアリマセウガ、ツレハ即チ例外ト見テ宜シイ、之ヲ要スルニ農商務省ニ於テハ、此法案ニ就イテ不確實ナルコト、不確定ナルコトヲ決シテ出シタノデアアリマセウカラ、左様御承知下サイ

○議長(鳩山和夫君) 堀越寛介君

(堀越寛介君演壇ニ登ル)

○堀越寛介君(百一番) チョット簡單ニヤリマス、唯今小松三省君ガ演壇ニ登ラレテ、豫言者ノ名譽ヲ得タイト云フコトデゴザリマシタガ、當時ハ獨逸アタリニ、大分此天氣ノコト杯ニ就イテ豫言ヲスルモノガアル、或ハ地震ナドノコトニ就イテ豫言スル者ガアル、然ルニツレガ當ラヌノデス、ドウモ豫言者ノ言ト云フモノハ、當時此世ノ中ニ度々當ラナイ、即チ私ハ小松三省君ハ、此豫言者ト同一ナルモノデアラウト信ズルノデアアル、(ツレダケデ宜シイ)ト呼フ者アリ) ツヨコ小松君ノ言フ所ヲ段々考ヘテ見ルト云フト、ドウカ此世ノ中ニ惡ルイ製絲ヲ拵ヘ——惡ルイ蠶種ヲ拵ヘ、惡ルイ惡品ヲ以テドウゾ日本ハ往キタイ、斯ウ云フ説ヨリ外ハナイ、構ハナイデ置ク、少モ検査ト云フモノハ用ヒナイデ、自然ニ打任セ置ケヨト云フ所ノ御説デアアル、自然ニ打任セテ置ケカラ、今日ノ如キ惡結果ガ起ルノデアアル、是ハ小松三省君ニ於テモ既ニ御承知アラセラル、コトダラウト思フ、既ニ我國ノ此生絲ト云フモノハ、外國デドウデゴザイマセウカ、彼ノ米國ノ如キ、佛蘭西ノ如キハ我國ノ得意デアアル、然ルニ米國市場ニ於キ佛蘭西ノ市場ニ於テ、我國ノ製絲ガ好評ヲ得ズシテ、支那ノ製絲ガ實ニ好評ヲ得テ居ルノデアアル、而シテ外國人ヨリハ、益々ドウカ此粗製濫造ノモノハ出サヌヤウニシナケレバ往カヌト云フコトヲ以テ、我國ニ忠告ヲ致スコトデアアル、是等ノコトモ知ラズシテカラニ、唯自然ニ打任セヤウ、打任セテ置イテ惡イモノヲシテ我國ニ流行セシメテ、外國貿易ヲ遮斷シヤウト云フガ如キハ、實ニ私ハ國家ヲ思ハザル所ノ人ミト私共ハ考ヘル、倍テ唯今小松三省ハ不確定ノモノヲ以テ農商務省ガ出シタトカ、或ハ一向確實ナラザル所ノモノヲ以テ出シタトカ云フコトヲ言ハレタノデゴザイマスガ、此點ニ就キマシテハ、政府委員ハ既ニ辯シタノデゴザイマス(十分ニ述べタカモウ宜イ)ト呼フ者アリ) 而シテ私モ能ク實業者ノ話ヲ聽キ、即チ實驗者學士等ノ説ヲ聽イテ段々ニ見マスレバ、實際是ヨリ外ニハ検査法ト云フモノガナイノデアアル、實際確定シタ學理、シツカリシタ所ノ學術的ノ検査デアルト云フコトヲ、私共ハ斷言シテ憚ラヌノデアアル(簡單々々)ト呼フ者アリ) 私ハ本論ガアルケレドモ、未ダ小松君ノ説ニ向

テ駁撃ヲシナケレバナラヌコトガアル、諸君ガ唯此法律ヲ過度ニ信ズルモノデアアル、法律デアリサヘスレバ——何デモ彼デモ法律々々——法律デアケレバナラヌト云フヤウナ考ヲ持ッテ居ルカラ、斯ウ云フ間違ッタ法案ヲ出スノデアアルト云フコトヲ、小松三省君ハ言ハレタ、實ニ私ハ不思議千萬ノコトデアルト思フ、固ヨリ必要ガアレバ、即チ法律ヲ拵ヘラレテ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ、當リ前ノ話デアアル、即チ他人ニ向ッテ害ヲ與ヘルモノハ、宜シク法律ヲ以テ之ヲ押ヘ付ケルガ宜シイ、他ト問ニ於テ害ヲナスモノガアツタナラバ、是ハ法律ヲ以テスルガ固ヨリ當リ前デアアルデアアル、吾々ハ當ニ過度ニ法律ヲ以テ——何ンデモ彼デモ法律ヲ以テヤラウト云フガ如キモノデハナイノデアアル、然ラバ今日此法案ガ出テ參ッタト云フコトモ、即チ實業者、實驗家等ノ説ヨリシテ、實際斯ノ如キ検査ヲ致サレバ、此微粒子ノ病毒、虛弱性ノ毒ト云フモノハ、遺傳ニ、或ハ傳染ニ、實ニ他ト他ノモノヲ害シテ參ルト云フ所ヨリシテ、——此法律ト云フモノガ是非共ナケレバナラヌト云フ所ノ希望ヨリ、詰リ今日此法案ガ出ル結果ニナツタノデアアル、然ルニ吾々ヲ指シテ唯法律ヲ過度ニ思フト云フガ如キコトハ、私ハ實ニ何タル言ダラウト思フ、(デスルコト)ノ——斯ウ云フ種類ノモノニ於キマシテハ、幾ラモ法律ガゴザイマスル、若シ小松君ノ如キ所ノ言ヲ以テ云フタナラバ、所謂彼ノ家畜病毒ノコトニ就イテ、検査ヲスルガ如キハ——検査ヲスル規則ノ如キモノハ、法律ノ上カラ出サレル譯ハナイノデアアル、サウ云フ類ハ幾ツモアル、況ヤ社會全般ニ害毒ヲ及ボスガ如キコトデゴザイマシタナラバ、縱令人ノ自由ヲ侵スト云ヘ、決シテサウ云フモノ、自由ハナイノデアアル、斯ルモノハ自由ヲ束縛スルノデアアル、他ノモノヲ害スルモノハ、即チ他ノモノヲ害スルト云フ自由ハ人ニハナイノデアアル、是ニ向ッテ検査ヲ與ヘルト云フノハ何ノ差支ガアルカ(討論終結)ト呼フ者アリ) 而シテ尙ホ唯今討論終結ト云フ所ノ御説モゴザイマスカラ、實際ノ有様ニ就イテ一言皆様ノ御耳ニ達シテ置カウト思フ、彼ノ蘭ノ検査法案デゴザイマスル(簡單々々)ト呼フ者アリ) マア少シ待ッテ下サイ、蘭ノ法案ノ如キモノハ、實ニ區々ニナツテ居ル、マチノノナル検査デアアル、ツレガタメニ斯ウ云フ有様デアアル、(此時實物ヲ示ス) 甲ノ縣ニ於テ合格ヲシテ、乙ノ縣ニ於テ合格ヲシナイ、ツレガタメニ合格ヲセヌ所ノ記シヲ斯ウ附ケラレテ、斯様ナ損害ヲ受ケルコトニナルノデアアル、是ガ即チ前ノ法案ノ不完全、ドウシテモ此検査法ヲ同一ニ致シテカラニ、方法ヲ一ニシテ、サウシテ往カケレバ、實際良キ所ノ蘭ヲ取ルト云フコトハムツカシイコト、私共ハ信ズルノデアアル、又獨リ我輩ガ信ズルノミナラズ、實際ガ證明シテ居ルノデアアル、實際ガ證明シテ居ルト云フコトハ、私ハ此ニ於テ斷言シテ憚ラヌコトデアアル、尙ホ進ンデ世ノ中ノ反對論ヲ駁サウト思ヒマスガ、併ナガラ最早是デモウ澤山ダラウト思フ、因ッテ私ハ此壇ヲ引下リマス

○議長(鳩山和夫君) マダ通告ガアリマセウガ、討論終結ニ贊成ガアリマスカラ、採決シヤウト考ヘマス——討論終結ニ御異議ハゴザイマセウカ

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○吉本榮吉君(二百五十一番) 是モ例ニ依ッテ、讀會省略ガ宜シウゴザイマス、明日ヨリ議事ヲ開クコトハ、モウ十三日シカアリマセウカラ、讀會省略

衆議院議事速記録第十九號 明治三十年三月八日 憲法検査法案 第一讀會ノ續 二八九

ニ賛成シ給ヘ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○久保九兵衛君(九十六番) 讀會省略ハイケマセヌ、吉本君ノ專賣デモ、本員ハ同意スルコトハ出來ナイ

○議長(鳩山和夫君) 辯論スル程ノコトハナイト思ヒマス、採決致シマス 讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、讀會ハ省略セラレマシタ、全部議題ト爲シマス

蠶種検査法案 政府提出

〔採決〕々々ト呼フ者アリ

○木暮武太夫君(百四十八番) 決ヲ採リマスナラバ、此第七條ヲ一字直シタテ「賣渡シ又ハ讓渡スルコトヲ得ス」ト云フノヲ「讓渡スルコトヲ得ス」トシテ「ル」ノ字ヲ削リタイ、是ハ甚タ讀惡イ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 木暮君ノ修正説ヲ、モウ一遍伺ヒマセウ

○木暮武太夫君(百四十八番) 第七條 今度ノ第七條ノ仕舞ニ持ッテ參リマシテ「證印ナキ蠶種ヲ賣渡シ又ハ讓渡スルコトヲ得ス」ト云フノヲ「讓渡スルコトヲ得ス」トスル

○議長(鳩山和夫君) 木暮君、是ハ音デ讀ンダラ一向差支ナイヤウデスナ「賣渡シ」トアルカラ「讓渡スル」ト、音ノ方デ往ッたら一向差支ナイ

○木暮武太夫君(百四十八番) 「讓渡スル」ト云フ「ル」ノ字ガアリマス

○議長(鳩山和夫君) 音デ讀ンダラ一向差支ナイヤウデス 御提出ニナリマスカ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス、木暮君ノ修正動議ハ、定規ノ賛成ガアルカラ議題ニナリマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○久保九兵衛君(九十六番) 議長

○小畑岩次郎君(百二十八番) 通告ガアリマスカラ、ドウカ此際通告シタモノドウカ……

○議長(鳩山和夫君) 小畑君ノハ八條ト十三條デゴザイマスガ、其前ニ——

○久保九兵衛君(九十六番) 私ハ修正ノ通告ガアリマス、私ノハ十二條デアリマス

○議長(鳩山和夫君) ツレデハ、小畑君ノ後ニシテ下サイマセヌカ

○佐藤忠望君(七十二番) 私ハ本會ニ於テ意見ヲ述ベヤウト云フコトヲ通告シテ置キマシタガ、唯今讀會ヲ省略シテ全部議題ト……

○議長(鳩山和夫君) 全部議題トナッテ居リマス、ツレデ小畑君ノハ八條ニ就イテ通告ガアルデス、久保君ノハ十二條デアリマスカラ、小畑君カラ先キニ登壇ヲ許サウト考ヘマス

○小畑岩次郎君(百二十八番) 佐藤君ノハ、ドウカ修正ガアリマスカ

○久保九兵衛君(九十六番) 私ノハ全部ニ對スル修正デアリマス、讀會省略ノ前ニ通告シテ置キマシタ

○議長(鳩山和夫君) アナタノハ何條デス

○久保九兵衛君(九十六番) 私ノハ十二條デス

○議長(鳩山和夫君) 小畑君ノ方ガ八條デスカラ、八條ノ後トニシテ戴キタ

○小畑岩次郎君(百二十八番) 本員ノ八條ニ就イテノ意見ハ、佐藤君ガ修正意見ガアルト云フコトデゴザイマスカラ、通告シテ置イタ、佐藤君ニシテ之ニ修正ヲ加ヘルト云フノ意見ガナイナラバ、本員ハ八條ニ意見ハゴザイマセヌ、佐藤君ノ意見ヲ御尋ヲ願ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 佐藤君ハ、修正説ヲ提出ニナリマスカ

○佐藤忠望君(七十二番) 私ハ二讀會ニ意見ヲ述ベヤウト云フコトヲ申シテ置キマシタガ、八條ニモ意見ガアルノデゴザイマス、即チ原案ノ第六條デゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) ツレデハ、修正説ヲ御提出ナサッテ宜シウゴザイマス

〔簡單ニ願ヒマス要領ダケ〕ト呼フ者アリ

○佐藤忠望君(七十二番) 私ハ此八條ニ——修正案ノ第八條、即チ原案ノ第六條ト、ツレカラ此原案ノ第十三條ト云フモノヲ削除スルト云フ意見デゴザイマス、此原案ノ第六條、即チ修正案ノ第八條ニ依ッテ見マスルト「此法律施行ノ地方ニ於テ必要アリト認メタルトキハ、地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此法律施行地以外ニ於テ製造シタル製絲用種ヲ買受又ハ讓受ケテ認許スルコトヲ得」斯ウ云フコトニナッテ居ル、一體此法律ヲ施行スルト云フ所以ノモノハ、既ニ先刻政府委員ノ述ベラレタル通、又堀越君ノ述ベラレタル通、是マデノ蠶種検査法ト云フ唯種ノ一ノミヲ検査スルノデハ甚ダ不完全ノモノデアル、是マデノ検査法ト云フニ尙ホ繭ノ検査ト云フモノヲ加ヘテ、此検査ノ方法ヲ完全ナラシメタイト云フノガ、此法案ヲ提出セラレタ點デアラウト思フ、然ルニ此法律施行ノ地ト云フモノニ於テ、若シ萬一非常ナ災害ニデモ罹リマシタトカ、何トカ云フノ場合ニ於テ、此法律施行地以外、即チ法律ノ施行シナイト云フ極ク其養蠶未開ノ地、若クハ此法律ノ範圍外ニ置カル、所ノ、即チ精良ナル蠶種ノ得難イ土地ヨリ、殊更ニ其製絲用種ヲ購求セネバナラヌト云フ必要ハ何ヨリ起ツタコトカ、私ハ解スルコトガ出來ヌノデアアル、此事ニ就イテ或ハ政府委員ノ説明ナドモ、往々委員會ニ於キマシテ聽キマシテゴザイマスガ、政府委員ニ於テハ或ハ北海道ト云フヤウナ土地ニ於テハ、旅行シナイ積リデアアルカラ、若シヤ、云フ土地ヨリ輸入スルト云フ場合モアルデアラウ、斯ウ云フ説明デゴザイマス、併ナガラ北海道ノ如キ多數ノ蠶種ヲ製造スルノ土地ニ向ッテ、此法律ヲ施行セヌト云フコトナラバ、寧ロ此法律ハ到底吾々ノ望ミ通ニ往カナイ話デアアル、デ、吾々ハ此法律ヲ彼ノ北海道ノ如キ、多數ノ蠶種ヲ製造スル地ニモ施行セヌト云フ様ナコトニハ、飽クマデ反對スルモノデゴザイマシテ、此法律ヲ施行スル以上ハ、全國一般ニ之ヲ布カナケレバナラヌコトデアラウト思フ、ツレ故ニ此原案ノ第六條、即チ修正案ノ第

八條ト云フモノハ、是ハ置クノ必要ハ萬ナイモノト私ハ認メルノデアリマス、若シ又或ハ十三條ヲ置カケレバナラヌト云フ御論ガゴザイマシテモ、是トテモ尙ホ此第八條ナルモノハ置クノ必要ハナイ、ナゼナラバ今申シマシタ通、サウ云フ養蠶未開ノ地、若クハ此法律ヲ施行セラレヌト云フ様ナ土地ニ、蠶種ヲ持ッテ來ナケレバナラヌト云フ必要ハナイノデアル例ヘバ、全國十ノ七八此法律ヲ施行スルニ至リマスレバ、其中二三ノ地方——施行シナイ地方ノ產出高ハ極ク少ナイモノデアル、ツレデゴザイマスルカラ、十ノ七八施行スル場合ニ於テ、或ハ十ノ二三ノ地方ガ災害ニ罹リマシタトシテ所ガ、其災害ニ罹ラヌ地方カラ、又法律ヲ施行ノ地方カラ買入ルコトニ於テ、何ノ差支モナイコトデアリマス、ツレデゴザイマスルカラ、縱令此第十三條ヲ活カスト云フ御論ガゴザイマシタ所デ、此第六條ナルモノハ決シテ置クノ必要ハ私ハ見ヌト思フ、若シ此法律ノ、此第六條ヲ活カスト云フコトデゴザイマシタナラバ、即チ此法律ヲ施行スルノ精神ト云フモノハ、マルデナクナツテシマフ、ツレデゴザイマスルカラ、私ハ此第六條、第十三條ト云フモノヲ削リマシテ、此法律ヲ一般ニ施行セナケレバナラヌモノト思ヒマス、ツレデ第十二條デゴザイマスガ、此事ハ委員長ヨリモ報道セラレマシタ通、先キニ委員會ニ於テハ多數ノ輿論ハ、即チ國庫ノ負擔ニスルコト云フコトデゴザイマシタ、政府委員ハ國庫負擔ト云フコトニ對シテハ、此事ハ同意ガ出來ナイト云フコトヨリ、ツイ委員會ニ於テハ已ムヲ得ズ斯ウ云フ修正ヲ加ヘルコトニナリマシテゴザイマスルケレドモ、此事ニ就キマシテハ甚ダ私ハ案ジラレルノデアリマス、若シ私ノ説ノ如ク、十三條ト云フモノモ、第八條ト云フモノモ、御削リニナリマシタナラバ、マダシモデゴザイマスルケレドモ、若シ此第八條、第十三條ト云フモノヲ存置スル以上ハ、尙ホ又此十二條ト云フモノハ、此儘ニ存シテ置ケナイコトニナル、ナゼナレバト云フコト、此第十三條ト云フモノニ依リマスレバ、地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ、農商務大臣ノ認可ヲ經テ施行シナイコトガ出來ルノデアル、斯ウ致シマスルト、其地方ノ輿論ニ依リマシテハ、此地方稅負擔ト云フコトニナツテ居リマスルト云フコト、其負擔ノ重ナルコトヲ憂フテカラニ、此法律ヲ施行セバナラヌ必要ナル府縣ニ於テモ之ヲ否決スルコトカナンカ云フヤウナ憂ガナイトモ申サレマセヌ、サウ致シマスレバ、此法律ナルモノハ之ヲ布カウトシテモ、若シ其町村——町村ジヤナイ、府縣ノ方ヘ自治ニ任セルガ如キ法律ニナツテ居リマスカラ、サウ致シマスルト云フコト、遂ニ此法律ガ國家ノ上ニ於テ必要ト認メテモ、其府縣ニ於テ其負擔スルノガイヤダト云フコトニナレバ、其府縣ニ限ツテ施行スルコトガ出來ナイト云フヤウナ憂ガ起ツテ來ル、ツレデゴザイマスカラ、願ハクハ此十二條ト云フモノモ、蠶種検査ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔ニスルコト云フコトニ致シタイト思フ、デ、私ハ甚ダ訥辯デゴザイマスルカラ、是デ御免ヲ蒙リマス

○議長(鳩山和夫君) 佐藤君ノ修正説ニ贊成ガアリマスカ
(贊成ニ贊成ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス
(一人モナイ)又(アル)ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 能ク分ラヌ、ドウソウ起立シテ……成規ノ贊成ガアリマ

衆議院議事速記録第十九號 明治三十年三月八日 蠶種検査法案 確定議

セヌカラ議題トナリマセヌ——小畑岩次郎君ハ別ニ通告ガゴザイマスカラ、發言ヲ許シマス
(小畑岩次郎君演壇ニ登ル)

○小畑岩次郎君(百二十八番) 極ク簡單ニヤリマス、ドウカ……私ハモウ到底此有様デハ、多數ノ贊成ハ得ラレヌカ知レマセヌカラ、簡單デ置キマス置キマスガ、此十三條ト云フモノハ、即チ十二條ニ相對シテ居ル條項デゴザイマシテ、即チ私共ガ十三條ヲ修正シタイト云ヒマスノハ、事實ニ於テハ同シヤウニナルカ知リマセヌガ、此法律全體ノ上カラ言フタナラバ、是非修正ヲ加ヘテ置カケレバナラヌ、即チ十二條ニ於キマシテ「蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス」ト云フノガ、是ガ土臺デゴザイマス、果シテサウデアルナラバ、此検査法ト云フモノハ今年マデ隨分社會ニヤカマシウ言フテ來タ問題デアル、或ハ強制的ニ執行シヤウト云フモノト、或ハサウ立入ルベキモノデナイト云フ、社會ノ輿論ガヤカマシイタメニ、本年マデ議場外ニ於テ騒イデ居ツタガ、議場ニ政府案トシテ出ナシタコトデアル、スル所ガ此案ガ出マシテカラ、能ク通視シマスルト、所謂強制的ニヤラウト云フコト、放任シヤウト云フコト、此間ヲ取ツテ出來タ案デアル、又今日ノ社會ノ有様ヲ見マシテモ、私共ガ考ヘルニハ、此法案ヲ拵ヘタ精神ヲ酌量シテ、先ツ此位ノモノナラバ實行シテモ宜カラウカ、又之ヲ強制的ニヤラウト云フ論者、即チ前述ベラレタ佐藤君ノ如キ趣意カラ言ヘバ、私共ハ此位ナコトデナイ、マダマダ今日ハ蠶種ノ上ニ於テハ必要ナ問題ガアル、例ヘバ短ク言ヒマスルナラバ、今日日本ノ蠶種ノ上ニ於テ、一番ニヤカマシウ云フテ研究ヲシナケレバナラヌモノハ、何デアアルヤト斯ウ云ヒマシタナラバ、獨リ此案ノ上ニ上ツテ居ル如キモノデナイ、マダ一ツ急務ナモノガアル、ツレハ如何ナルモンカト言ヘバ、種類ヲ一定ニシナケレバナラヌト云フノガ、國家ノ上カラ言フテ、誠ニ必要ガ目下ニ迫ツタ問題デゴザイマス、彼ノ日本ノ蠶種ハ、三百餘種、四百種モアルト云フ多數ノ種類ニナツテアリマスシ、我國ト生絲ヲ海外ニ爭フ所ノ支那、或ハ伊太利、佛蘭西ト、此國ニ於テ蠶ノ種類ヲ調ベテ見レバ、支那ハ一種デアル、或ハ伊太利、佛蘭西ハ二三種ニ過ギヌ、斯ウ云フ様ナ有様、即チ其種類ノ少イト云フノハ生絲ノ上ニ現レテ、生絲ガ一定シマシテ、餘計織物ガ出來ルト云フニ外ナラヌ、我國ノ生絲ハ海外ニ出マシテ始終失敗ヲスルト云フノハ、繭ノ性質ガ惡イカラ、絲ノ性質ノ惡イト云フコトハ何カラ起ルカト言ヘバ、種類ガ多イカラ起ル、然ルニ一番我國ト強敵ノ海外ニ於テ爭フト云フノハ、隣ノ支那國デアリマス、ツレハ其支那國ニ於テハ種類ガ一種デ、極ク性質ノ宜シイ、所謂言フナラバ光澤モ宜シイ、解村モ宜シイ、織緯モ宜シイト云フ様ナ種類デ、支那ガ今日マデ來ツテ居ル、然ルニアノ國ハ總テ改良ノ度ニ於テハ日本ノ如ク往キマセヌカラ、是ハ古來カラヤツテ居ル如キ、手引、坐繰ノ如キコトヲ以テヤツテ來タカラ、海外ニ日本ト爭フコトハ出來ナシケレドモ、コ、一兩年ノ清國ノ有様ヲ見マスルト、生絲ノ上ニ於テハ非常ニ進歩ヲ致シマシテ、昨年一昨年ニ於テ、精巧ナル機械ノ製絲場ガ、四十何箇所ト云フモノガ出來マシタ、其以前ハドウカト言ヘバ、僅ニ二三箇所ニ過ギナカッタト云フヤウナモノガ、コ、一兩年ニ支那ガ進歩ヲ

○議長(鳩山和夫君) 贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス
(一人モナイ)又(アル)ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 能ク分ラヌ、ドウソウ起立シテ……成規ノ贊成ガアリマ

衆議院議事速記録第十九號 明治三十年三月八日 蠶種検査法案 確定議

致シテ居ル、果シテ此進歩ノ度合ガ、此未支那ガ進ミマシタナラバ、我國ノ生絲ハ海外ニ於テ言フベカラザル有様ニ立至ラウカト思フ、果シテ其上カラ言フト、我國ノ生絲ヲ改良シナケレバナラヌ、之ヲ改良スルノハ何デアルカト言ハバ、種類ヲ一定ニシナケレバナラヌト云フノガ、今日ノ一番ノ問題デアル、今日ハ微粒子毒トカ何トカ云フコトヲ論ズル時デハナイ、マダ一層蠶種ノ上ニ於テコ、ニカヲ入レヌナラヌ時デアラウト思フ、故ニ強制的ニヤルナラバ、其種類一定論カラシテ我輩ハヤルガ宜イト云フ考ヲ持ツテ居ル、然レドモ此事ハ到底今日サウ云フコトヲ言フテモ、通過シマスマイシ、國家ガツコ迄干渉スベキモノデアルヤ否ヤハ、又一ツノ問題ト思フ故ニ、其事ハ差措イテ、先ヅ以テ此案ハ目下各府縣限リ、地方費ヲ以テ誠ニ嚴重ナ方法ヲ以テ施行シテ居ル處ガアル、或ハ又コチヲ方ニハ放任シテ居リ、或ハ此縣ニハ他所カラ持ツテ來ルモノヲ、再ビ検査シテ居ルト云フ區々ノ有様デアリマスカラ、先ヅ之ヲ一定スルニハ、地方限リ希望シテヤル所ハヤルガ宜シイ、ヤラセルガ宜シイト云フ、所謂地方ニ任ス強制的ノ趣意デナシニ、地方ニ一任シテ地方ニ任セル、地方ノ希望ニ任セルト云フ趣意カラシテ、本員ハ既ニ小松君ノ議ガ通過セヌ以上ハ賛成スル者デゴザリマス、果シテ其趣意カラ言フツナラバ、此十二條ハ費用ヲ主トシテ地方費ニ任セル、若シ足ラヌナラバ國庫カラ補助スルガ宜カラウ、サウ十二條ヲシマシタナラバ、十三條ト云フモノハ、是非地方デ費用ヲ極メテ、サウシテ此法律ヲ施行シタウゴザリマスト云フテ出タラ、許シテ施行サセル、國家ガ立入ッテ、強制的ニ必ズヤレト云フヤウナ命令ハ、蠶種検査法ヲ設ケテ、今日強制的ニヤルト云フ時デハアルマイ、ヤルナラバ、今ノ申上ゲタ第一種類ヲ一定スルト云フ様ナ、重要ナ問題ヲ以テ掛ツテヤラナケレバナラヌ、其日本ノ蠶種ハ前途大ニ改

良シヤウト云フノデナク、府縣ニ於テ區々ナコトヲシテ居ルカラ、之ヲヤルナラバ、此法ニ據ツテヤレト云フニ外ナラヌ、此法律ノ施行ハ果シテサウナレバ、此十三條ハ是非修正シタウゴザリマス、其修正文ハ此第十三條「此法律ハ地方長官ニ於テ土地ノ狀況ヲ具申シ農商務大臣ノ認可ヲ得テ施行スルモノトス」斯ウ云フ風ニ直シタウゴザリマス、サウ直シマスト、十二條ハ地方ノ費用デアラル、丁度地方デ費用ヲ議シテ、具申シテ施行スルト云フヤウナコトニ、本員ハ致シタイト云フ考デアリマス

○東尾平太郎君(八十八番) 小畑君ノ説ハ、特別委員會ニ於テ一名モ賛成者ガナカッタノデスカラ、此段報告ヲシテ置キマス

○議長(鳩山和夫君) 小畑君ノ修正勳議ニ賛成ガアリマスカ—賛成ノ聲ヲ聽キマセヌカラ、議題ト爲リマセヌ

○久保九兵衛君(九十六番) 私ハ極ク簡單デゴザリマスカラ自席デ述べマス

○久保九兵衛君(九十六番) 呼フ者アリ又「討論終結」ト呼フ者アリ

○久保九兵衛君(九十六番) 發言ヲ許サレマシタ、イケマセヌ、此十二條ノ特別委員ノ修正ニ反對デアリマス「國庫ハ其半額以内ヲ以テ補助スルコトヲ得」ト云フ、此文ヲ削除スル單簡ニ其理由ヲ……

○議長(鳩山和夫君) 久保君登壇ヲ促シマス

○久保九兵衛君(九十六番) 極ク單簡ニヤリマス、デ私ハ此第十二條ノ「國

庫ハ其半額以内ヲ以テ補助スルコトヲ得」ト云フ特別委員ノ修正ニ反對ヲ致シマスデゴザイマス、デ、蠶種検査ニ關スル費用ノ半額ヲ補助スルト云フコトハ、實ニ當ヲ得ナイノデゴザイマス、是等ノモノニ對シテ補助致シマスルモノトシマスレバ、彼ノ近來著シク進歩ヲ來シタ所ノ絹織物、即チ羽一重、又桐生、足利ノ甲斐絹、京都ノ西陣ノ縮緬、是等ノ如キニ對シテモ、悉ク補助致サナケレバナラヌト云フ一ノ惡慣例ヲ作ルト云フ私ノ考デアリマス(東尾平太郎君「分ツテ居ル討論終結」ト呼フ)分リマシタカ、サウデスカ、是等ノモノニ對シテ、國家ガ補助スルト云フコトハ、實ニ當ヲ得ナイト思ツテ居リマスカラ、ウレデ補助スベカラザルモノトシテ、即チ政府案ノ「北海道廳及沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス」ト云フコトニ復活ヲ致スノデゴザイマス、ドウカ諸君御賛成アラシコトヲ……

○議長(鳩山和夫君) 御議論ガ認キタト盡メマスカラ、採決シマス、第一條、第二條ハ、同時ニ採決シマス、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 原案通り可決シマス、第三條本文竝ニ一號二號ニハ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ、原案ニ可決致シマス—第三號ニハ、委員會ノ修正意見ガゴザリマス、春蠶ニアツテハ八、夏秋蠶ニ在リマシテハ六ト云フ文字ガ此ニ這入ッテ居ル委員會ノ意見ニハ御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ、原案ニ可決致シマス—第四條、第五條ハ、同時ニ採決シマス

○議長(鳩山和夫君) 原案通り可決致シマス第六條ヲ第八條トスルコトニ就イテ、御異議ガゴザイマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) ツレカラ第七條ヲ第六條トスル、委員會ノ意見ニ御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) ツレカラ、第八條ハ二度ニ採決シマス、八條ヲ七條トスルコトニ就イテ、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) ツレカラ、木暮武太夫君カラ修正ノ意見ガゴザリマス

○議長(鳩山和夫君) 即チ此「ル」ノ字ヲ削ル—其他ハ、委員會ノ修正意見通り可決致シマス—第九條、十條、十一條ハ、併テ採決シマス、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 即チ此「ル」ノ字ヲ削ル—其他ハ、委員會ノ修正意見通り可決致シマス—第九條、十條、十一條ハ、併テ採決シマス、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 即チ此「ル」ノ字ヲ削ル—其他ハ、委員會ノ修正意見通り可決致シマス—第九條、十條、十一條ハ、併テ採決シマス、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 第十二條、委員會ノ修正意見ガゴザリマス、委員會ノ修正意見ニ御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 即チ一項、二項、共ニ委員會ノ修正意見通り可決致シマス

○議長(鳩山和夫君) 原案通り可決致シマス

○議長(鳩山和夫君) 委員會ノ修正意見ガゴザリマス、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 委員會ノ修正意見ガゴザリマス、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 第十八條以下、總テ同時ニ採決シマス

○議長(鳩山和夫君) 第十九條ニハ修正ガアリマセヌカ、二十條ニハ「及第四條」ト云フ四字ヲ削除スルト云フ委員會ノ意見ガゴザリマス

○議長(鳩山和夫君) 第二十一條ニハ委員會ノ修正モアリマセヌカ御異議ハアリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 是デ確定シタモノト見テ、御異議ハゴザリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 確定ト認メマス

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ森林法ノ特別委員會ヲ開キマスカラ、委員ノ退場ヲ御許アラシメテ望ミマス

○議長(鳩山和夫君) 中村君カラ述べラレタコトハ、許シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 日程第二、鐵道敷設法中改正法律案

○望月右内君(二百八十七番) 特別委員會ノ經過ト結果ヲ御報道致シマス、本議案ヲ受取リマシテ、數回會議ヲ開キマシタノデアリマスガ、其間ニハ遞信省ヨリモ、政府委員ニ出テ貫ヒテ意見ヲ聽キ、陸軍省カラモ出テ貫ヒテ意見ヲ聽キマシタガ、要スルニ昨年中央線ノ起點ヲ、神奈川ニセウツ云フタ、

政府ガ提出シタ案ト毫モ異ナラナイデアリマス、唯文字ガ昨年ハ延長線デアッタモノガ、本年ハ聯絡線ト書現ハレテ出テ來タマデニシテ、其他變リマシタモノハ何モナイデアリマス、要スルニ此聯絡線トシマスルト、陸軍省ノ意見モ聽キマシタガ、陸軍省ハ越後ノ新發田ノ兵ヲ斜ニ横須賀ニ引クトキニハ、此線路ガ入用デアルト云フコトデゴザリマシタ、然ラバ此聯絡線ト云フ上カラ考ヘマスルト、中央線ト東海道線トノ聯絡線ト云フヨリハ、此信越線ト東海道線トノ聯絡線、即チ高崎ヨリ横濱ニ至ル鐵道ト云フヤウナモノハ、聯絡線トシテハ入用デアリマセウ、然ルニ其一部分高崎ヨリ神奈川、高崎ヨリ八王子マデハ、早既ニ私設ニ大部分ヲ許シタデアリマス、サウシテ八王子ヨリ神奈川マデノ一部分タケテ官設ニシナケレバナラヌト云フコトハ、委員會ニ於テハ同意ガ出來ナイト云フコトデゴザリマス、ツレカラ此中央線ノ起點ヲ二ツニシテ、此鐵道行政ノ中心點マデ引寄セタイト云フ、政府ノ趣意デアリマス、然ルニ此東京ヲ起點トシマスレバ、甲武鐵道ト云フモノガアルカラシテ、殊更ニ横濱(神奈川)ヲ起點トシテ避ケルヤウナ意味合モ、説明ノ上デ能ク分リマシタ、是ハ此部分ヲ、東京ヨリ八王子マデノ間ヲ、私設ニ許シタト云フコトハ、大イナル過チデアルト云フコトハ、當局者モ其感ヲ持ッテ居リマセウシ、諸君ニ於テモ其觀念ガアルデアラウト思ヒマスガ、是ニ於テ英斷ヲ加ヘザレバ、此鐵道ガ一ツアルカラト云フテ、此私設鐵道ガアルカラト云フテ、神奈川ニ起點ヲ避ケルコト云フガ如キ、因循ノ處置ヲ執ッテ居リマシテハ、到底此改善ヲ圖ルノ時期ハアルマイト考ヘルデアリマス、ソコデ起點ハ此中心點、即チ一國ノ大都會ノアリマス所ノ東京ヲ起點トスルト云フコトニシテ、サウシテ是ガ處置ヲ爲スニハ、此敷設方中ニアリマス所ノ第十一條、第十二條ト云フモノモアリマスカラ、價格ヲ以テ買收シ得ルコトナレバ、是ハ今ニ於テ買收シテシマフヤウニスルガ、却テ國家經濟ノ上ニ於テ得策デアラウト思ヒマス、併ナガラ私設會社ガ過當ノ中立ヲシテ、買收ガ出來ナイトキハ、已ムヲ得ズ一線東京マデ敷カザルヲ得ヌト云フコトハ、ツレマデノコトデアリマス、何シロ一國ノ大都會ニ頭ヲ出ス中央線ト云フ鐵道ハ價值ガアルト信シマシタガ故ニ、此委員會ハ此ノ如ク修正シマシタ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス

(政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(松本莊一郎君) 唯今特別委員長ノ報告ガアリマシタガ、其御報告ノ御言葉ノ中ニ、幾分カ相違ノ點ガアリハセヌカト考ヘマスカラ、一應辯シテ置キマスルガ、第一ニ此今問題ニナッテ居リマスル神奈川、八王子ノ線路ノコトニ就イテ、陸軍ノ政府委員ハ、越後ノ新發田ノ兵ヲ斜ニ持ッテ來ル云々ト云フ必要ヲ説カレタト云フヤウナ、委員長ノ演說ノ中ニ御言葉ガアッタヤウニ考ヘマスガ、是ハ陸軍ノ政府委員ガ唯今此處ニ居ラレマセヌカ、私ガ間違ッテ居ルト云フコトヲ辯ズル譯デモゴザイマセヌカ、本官ノ聞イテ居リマシタ所デハ、サウ云フ趣意デハナカッタヤウニ承知致シテ居マス、是ハ尙ホ陸軍ノ政府委員ガ辯ゼラル、時ガアリマセウケレドモ、念ノタメニ申シテ置キマス、ツレヨリハ直接ニ遞信省政府委員ノ説明ト云フコトニ就イテ仰セラレタ御言葉ノ中ニ、第一ニ此線路鐵道行政ノ中心ニ持ッテ來タ云々ト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、ドウ云フ意味ノコトカ、本

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

官ニハ甚ダ分リ兼ネマスケレドモ、サウ云フ趣意ハ勿論ナイノデアリマス、即チ中央線ト云フモノヲ、八王子ト名古屋ニ至ル間ニ敷設致シマスル、此工

事モ非常ニ困難ナル、大線路ヲ造リマスニハ、ドウシテモ建設中ノ便利上

カラモ、既成ノ官設線ニ聯絡スルノ必要ガアルノミナラズ、此他日運輸營業

ヲ致シマスレドモ、西ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

シマスルケレドモ、東ノ方ノ端ハ、名古屋ニ於キマシテ、既成鐵道ト勿論致

○議長(鳩山和夫君) 中野武營君 (中野武營君演壇ニ登ル)

○中野武營君(百二十六番) 諸君、本員ハ原案ニ賛成ヲ致シテ、委員ノ修正

説ニ反對致ス意見ヲ申述セル心得テ登壇ヲ致シマシメ、抑々原案ニ掲ゲテ

ル如ク、神奈川ヨリ八王子ニ至ル線路ハ、實ニ必要ナル線路ト本員ハ認メテ居

リマスル、實ニ本員ガ認メテ居ルノミナラズ、滿場諸君モ、屹度此線路ハ必

要ナルモノデアルト云フコトニ就イテハ、御一人モ異議ノナイコト、私ハ信シ

テ居ル、又民間ノ有様ヲ徴シテ見テモ、此線路ニ就イテハ、現ニ八會社ヲ企

ヲナシテ、政府ニ願出テ居ルト云フコトヲ承テ居ル、ソレ是ヲ考合セマス

レバ、此線路ノ實ニ必要ナルコトハ明カナラザル、サウレテ政府ガ中央線

ノ大工事ヲ是ヨリ起スニ當リテ、八王子ヨリ神奈川ニ至ル線路ヲ延長シテ、

サウシテ此工事ノ事カラ、萬端ノ便利ヲ得タイト云フコトモ、私ハ最モ當然

ナ望ト思フノデアアル、若シ政府ニ其心ガナカクメナラバ、議會カラレテ其注

意ヲ與ヘナケレバナラズト、私ハ思フテ居ル位ノコトデアアル、ソレハ何故ト

ナレバ、此中央線ハ御承知ノ通、二千七百バカリノ工費ガ掛ルノデアアル、

此大工事ヲ國家ガ必要ナリト認メテ、中央線ト云フモノガ、定ツタノデアアル、

國家トシテ此中央線ニ斯ノ如ク巨額ナル所ノ金ヲ投ズルハ、何故デアアル、一

般ノ便利、軍事上ノ便利ヲ圖ラントスルニ外ナラヌノデアアル、然レバ此線ガ

八王子マデ、止ツテ居ルト云フコトハ、甚ダ今日マデノ法律ガ缺點ニ相違

ナイノデアアル、併ナガラ此修正案ニ依ツテ見ルト、東京ヲ中心點ニシテ宜

カラウト云フ御修正ニナツテ、別ニ此神奈川ニ往ク必要ハナイ、或ハ必要ア

リトスルモ、私設鐵道ニ許シテ不都合ガナイ、官設鐵道ニスルニハ及バヌト

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

確定議

○武市彰一君(二百二十三番) 別ニ反對者ガナイカラ、速ベル必要ハアリマ

セヌ、併シアリマシタナラバ速ベマス

○議長(鳩山和夫君) 他ニ通告アル御方ハ、ドウナサイマスカ、中野武營君、

笑浦勝人君

○中野武營君(百二十六番) 演說致シマス

○議長(鳩山和夫君) 武市君アナタハ演說ヲナサイマスカ

○武市彰一君(二百二十三番) 承リマシタ上デ、申ス必要ガアリマスカ

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

マス

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メテ、議會省略ニ致シマ

ス、全部議題トナシマス、武市彰一君、御通告ガアリマスカ、御演說ガアリ

サシテ宜イト云フノハ、國家ノ便利、國家ノ利益ヲ餘所ニシテシマツテ、直チニ私設會社ノ便利ヲ圖ルト云フコトニナル、國民トシテ是デ默シテ居ラルルデゴザイマセウカ、免モ角モ吾ミガ決議シテ二千七百萬圓餘ノ工事費ヲ起シタノデアアル——工事ヲ起シタノデアアル、其工事ニ與ヘルコトヲ後トニ見テシマフテ、サウシテ之ヲ私設鐵道ニ許スト云フコトハ、甚ダ私ハ不親切ノコトデアラウト思フ、又實例ヲ舉ゲテ申セバ東海道ノ武豐線デアアル、彼レ如キモ、即チ東海道へ彼レ程ノ大事業ノ鐵道ヲ架ケントスルナラバ、武豐カラ運搬材料ノ運輸便利ノタメニ、武豐カラモ一ツノ線ヲ架ケタノデアアル、縦シンバ是程ノ大事業ヲスルモノナラバ、事業ガ濟ンダナラバ其軌道ハ取除イテシマツテ、鐵道ノ不必要ナルベキ場所デアアツテモ、是程ノ大事業ヲスルナラバ、建築用トシテモ此線路ハ架ケヌケレバナラヌ、丁度武豐線ノ如クシテ架ケヌケレバナラヌ、八王子カラ神奈川マデハ是非架ケニヤナラヌモノデアアル、ウレノミナラズ、中央線ト東海道線ト連絡スルト云フコトハ、實ニ必要デアアル、他日成功ノ上ト雖モ、建築中丈ニハ限ラヌ、是ガ成功シタ上ニモ、實ニ必要ノ線路デアアツテ、此東海道ト中央線トノ連絡ハ、是ニ於テ出來ルガ一番宜シイ場所デアアル、若シ政府ニ鐵道ハ事業ハサ、又、總テ民設デサスト云フナラバ、私ハ何ヲカ申サヌ、併シ吾ミガ認メテ、政府ニ鐵道事業ヲサスト云フコトヲ立法部ガ認メタ以上ハ、ウレニ對シテ便利ヲ與ヘテ、一日モ早ク出來ルヤウニシナケレバナラヌ、然ルニ此修正案ニ依ツテ見マスルト、東京ガ一番日本ノ中心デアアル、此中心ヲ起點トシテ往ケバ中央線ト云フモノハ、首尾貫徹スルモノデアアル、云フ御辯解ハ能ク承リマシタガ、是ハ實ニ虛名ヲ與ヘテ實益ヲ奪ヒ去ルト云フ私ハ御論ト思フ、他日成程此中央、此東京へ接續ヲサスノガ必要ナラバ、又其時分隨分出來得ラル、コトデアアル、今何ゾ必シモ此甲武鐵道ガアルノニ、此布告、即チ此法律ノ改正ヲシテ、東京ヨリ八王子ニ至ルト云フ修正ノ案ヲ豫定シテ置カズトモ宜シイ筈デアアル、政府カラ出シテ居ル豫算ハ、一方ニ墜道ヲ掘リ、一方ニ事業ニ著手シテ居ル、此場合ニ於テ殊ニ切要ヲ感ジテ居ルカラ、此法律ノ必要ヲ提出ニナツタラウト思フ、然ルニ斯ノ如ク修正ニナツタトキニハ、虛文ニ屬シテシマフ、少モ今之ヲ改正スル必要ハ少モ見ヌノデアアル、又委員長カラノ先刻ノ御説明ニ依ツテ見ルト、高崎ヨリ八王子マデノ分ニ、早ヤ既ニ假免狀ヲ渡シテアル、其線路ヲ神奈川マデ延バスノデアアルカラ、ウレヲ中途ニ止メルノハ不都合デアアル、ソレ故ニ此モノハ民設ニ許スベキモノデアアルト、斯ウ云フヤウナ御説明モアリマシタガ、私ハ若シサウ云フ御趣意ナラバ、何故ニ名古屋カラ八王子マデノ大鐵道ヲ一方ニ許シテ置キナガラ、ウレヲ延長サセヌナラヌト云フ論理ガ立ツナラバ、中央線ノ大工事ヲ政府ニサセヌ、其線路ヲ何故ニサセヌカト云フコトデアアルノミナラズ、若シサウ云フコトヲ以テ民業ヲ妨ゲルト云フカ、甲武鐵道ト云フモノハ、現ニ人民ニ許可シテ既ニ架ケテ居ル、ウレヲ此法律デ横ヘ線ヲ架ケルカ、或ハ甲武鐵道ガ安ク買ヘレバ買フト云フ、斯ウ云フ如

キト云フモノハ、取りモ直サズ即チ民業ト競争スルノデアアル、論法相衝突シテ居ルモノト私ハ思ハレルノデアアル、要スルニ此修正文ハ虛名ヲ與ヘテ、成ル程法律文カラ見ルト、東京府下——東京ヨリ同ク府下八王子ニ至ルト云フコトデ、エライ中央線ガ立派ニナルヤウニ見エマスケレドモ、事實用ヲ爲サナイモノデアアル、事實法律ノ改正ノ今日必要ハナイ、今日少シモ必要ハナイモノヲ與ヘテ、而シテ事實ノ國家ニ必要ナルベキ線路ヲ、他人ノ、即チ民設ニ渡スト云フ、此位國家ニ取ツテ不利益不當ノコトハナイト私ハ信ズルノデアアル、此事ヤ甚ダ簡單ナ論理デゴザイマス、別ニ喋々申上ゲルマデモナイノデアアル、私ハ甚ダ恐レル、國家ガ將來何事ヲスルニモ、詰ラナイコトニハ無暗ニ國家トシテ金ヲ掛ケニヤナラヌ、國民ニ負擔ヲサセニヤナラヌ、サウシテ一方ニ國民ニ負擔ヲサセテ、其資金ヲ澤山投ジテ、困難ナ所ヲ國家ニサシテ置イテ、サウシテ其横ノ方ノ極ク甘イモノハ、色々ノ手段、色々ノ團體ヲ以テ、其甘味ダケハ其方デ吸取ルト云フコトハ、若シ事實ニアツタナラバ、他日はヨリ後國家事業トシテ物スルコトニ至ツテハ、人民ハ頗ル踴躍セヌケレバナラヌ、踴躍セヌケレバナラヌ、私ハ穩ニ國民ヲ代表シテ、國民ニ是ダケノ負擔ヲサセ、二千七百萬圓ノ金ヲ掛ケサセテ、中央線ヲ拵ヘサスト云フナラバ、國民ノタメニ便利ヲ圖ラヌケレバナラヌ、國民ノタメニ迷惑ヲサセヌヤウニシナケレバナラヌ、他日此通貫ノ後トデコソ、負擔ヲサシタ所ノ面目モ立ツノデアアル、國會ガ決議ヲシタ面目モ立ツルノデアアル、然ルニ斯ノ如ク多數ノモノヲ以テ國民ニ負擔サシテ置キナガラ、其末ノ處ノ二十五哩、是カラ便利ニ要スベキ必要ノ處ダケヲ民設ニ許スト云フノハ、私ハ國家ニ取ツテ甚ダ惜ム、當ニ此法案ノミナラズ、他日斯様ナモノガ事實ニ現レタナラバ、他日國家事業トシテ事ヲ起スニ就イテ、國民ノ甚ダ踴躍ヲ致シ、甚ダ歎聲ヲ發スル譯デアリマシテ、遂ニ國家事業ヲ起サヌト云フ結果ニ至ルト云フコトヲ、私ハ甚ダ懸念ガアリマスカラ、一言申述ベテ置キマス

○沼田宇源太君(二百六十九番) 議長、中野君ニ質問ガアリマス

○議長(鳩山和夫君) 宜シイ

○小室重弘君(二百九十一番) 本員モ質問ガアリマス

○議長(鳩山和夫君) 既ニ沼田君ニ許シマシタカラ、其後トニ……

○沼田宇源太君(二百六十九番) 中野君ノ御議論ニ就イテハ、彼是申サナイガ、中野君ノ御演說中ニ、本案ニ就イテハ滿場ノ諸君モ政府案ノ必要ヲ認メテ居ルダラウト云フコトデゴザイマスガ、丁度本案ト同一ノ案ガ、第九議會ニ出マシテ、第九議會ニ於テハ殆ド全會一致ヲ以テ否決シタ、ウレガ貴族院トノ衝突ト爲ツテ、大イニ争フタ所ノ問題デアアル、此行掛リハ今日ニ至ツテモ取レナイ、然ルニ滿場諸君モ皆之ニ依レルデアラウト云フ、又中野君ノ御贊成ノ御演說カラ考ヘテ見ルト、昨年ト今年トハ打ツテ變ツタ様ニ思ハレル、昨年ノ事情ト本年ハ如何ナル區別ガアツテ、斯様ニ變ズルモノデアラウカト云フコトヲ承リタイ

○中野武營君(二百二十六番) 其御尋ニ對シテ答ヘルノハ、無用ノヤウニ思ハ

レマスガ、折角ノ御尋デアリマスカラ、御答致シマス、昨年ヨリ私ハ此説ヲ持ツテ居ル、ソレカラ昨年ハ吾々ノ議員中デモ、私ハ此説ヲ出シテ、委員會ガ妙ナモノヲ出スト思フテ居ル、ソレデ此案ト云フモノハ、今年出テ來レバ、イツデモ私ノ思フタ所ヲ言フ、少シモソレハ脚踏致スベキ筈ノモノデハナイト思ヒマス、院議ヲ重シムル、重シシナイハ、此處デ評議ニナツタラ差支ナイト思ヒマス

○小室重弘君(二百九十六番) 私ノ質問モ沼田君ト同趣意デアリマシタカラ、止メマス

(武市彰一君演壇ニ登ル)

○武市彰一君(二百二十三番) 諸君、老練ナル中野君ノ御演説ノ後トニ、私共ガ反對ノ意見ヲ陳ベルコトハ、烏滸ガマシイヤウニゴザイマスガ、私共モ中野君ガ壇ヲ打ツテ言ハレル如ク、二千數百萬圓ノ金ヲ支出スルハ、中央鐵道ヲ重シムル餘リ、吾々ハ委員會ニ於キマシテ、起點ヲ東京ニスルト意見ヲ唱ヘタ者デアリマス、如何デゴザイマス、國家ノ中央幹線トシテ敷設スル所ノ中央鐵道ハ、西ノ方面ハ如何ナル處ニ連絡ヲ取ツテ居リマスコトハ、ウカ、從來ノハ即チ名古屋デアツテ、然ルニ當年尙ホ追加ヲセラレテ、之ヲ海岸ニ連絡シナイ處ノ中央ヲ通ルト云フ所デ、岐阜、多治見間ヲ新ニ敷設スルコトニ決定シタデハゴザイマセヌカ、然ルニ中央線ノ東部ノ方、即チ中心ニ接続スル處ハ、如何ニスル考カト云フト、僅ニ一小驛ノ神奈川ノ方ヘ、而モ接続線——線路カラ言ヘバ、今年ノ議案ノ提出ノ仕方デゴザイマスガ、其一種ノ支線ヲ以テ、中央ノ連絡ノ最後トシテ、ソレデ十分デアルト云フコトハ、私ハ分ラヌ、成ル程工事ヲ實施スル上ニ於テ、或ハ其他ノ方法ニ於キマシテ、中央位ノ起點モ出來マシタ上ニ、尙ホ神奈川、八王子ガアツタラ、或ハ必要ナト云フ時期ニ迫ル場合ガ將來アルカモ知レナイ、或ハ中野君モ自ラ言ハレタ通、敷會社ガ出願シテ、此間ノ連絡線ヲ敷設シヤウト云フ私設鐵道會社モアルト云フコトデゴザイマスガ、私共ハ固ヨリ左様ナコトハ一向知リマセヌ、併シソレハ中央線全體ガ備リマシテ、ソレカラ全體ノ規模ガ備リ、法律ノ規定ガ出來マシテ、サウシテ其工事ガ出來マシタ後ニ、尙ホ之ニ加フルニ、或ハ北陸線ト連絡ノ線、又既設ノ東海道線トノ連絡、即チ神奈川、八王子間、或ハ岩淵甲府間ノヤウナモノ、斯様ナ横筋ノモノモ、其必要ガアルカモ知レマセヌガ、扱テ吾々ガ諸君ト共ニ、此國家ノ中央ノ軌道タル鐵道ヲ如何ニシテ往ツタラ宜シウゴザイマセウ、八王子カラ起ツテ唯今ノ通ノ法律ノ規定デ、完全無缺ト申サレマセウカ、私共此點ニ於テハ中野君ガ、即チ中央鐵道ヲ重シムル等シキ重シ方ヲ持ツテ居リマス、故ニ之ヲ東京ニ置カナケレバナラヌト云フ議論ヲ深ク信ジテ疑ハヌモノデアアル、或ハ中央ニ出スンバ、近來甲武鐵道ナドト云フ私設鐵道會社ガアルカラ、此便ニ依ツテ宜シイ、斯ウ云フヤウナ議論モゴザイマスガ、私ハ考ヘルノニ、中野君ハ言ハレル、若シ中央鐵道ガ株式組織ノ私設鐵道デアッタラバ、必ズ神奈川、

八王子ノ今度ノ連絡線モ、ソレト同一ノ會社ニ許スト云フコトハ、サウシナケレバナラヌ性質デアアル、中央線ヲ政府ガスルノデアアルカラ、神奈川、八王子モ政府ガスベキモノデアアルト言ハレタ、成ル程或ハサウ云フ理由ガアルカモ知レヌ、或ハ實際ニ左様ナ必要ガアルカモ知レナイ、又道理ハ左様ナモノデアアルカ存シマセヌガ、若シ左様デアレバ、成ル程中野君ハ東京ニ起點ヲ置イテ、即チ中央線ガ延ビテ骨ニナリ、機軸ニナルモノガ中央カラ出ル、今日八王子以西ノ彼ノ大鐵道ノ線路ガ、法律ニ規定サレテ居ル——中央ニ結附クベキ所ノモノガ、未定ニナツテ居ル、今度僅ニ接続線——連絡線トシテ神奈川、八王子ノ問題ガ、今度出マシタ、昨年ノ出シ方ハサウデナイ、政府ハ何故變ヘマシタカ、今度ハ支線ノヤウニシテ出シテアリマスガ、私ノ考ヘデハ左様ニスルヨリモ、寧ロ中央ニ出スト云フコトガ、一番先キニ決定スベキモノト思フ、即チ本院ガ——此衆議院ガ否、帝國議會ガ國家ノ機軸ノ鐵道ヲ決定致シマスル上ニ於テ、先ヅ一著ニ機軸ト爲ルベキモノヲ中央ニ出シ、其後必要ガアツタラ、漸次支線ニスルト云フ考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、線路ヲ重シマサル上、數千萬圓ノ國家ノ財源ヲ以テシタ、大切ナ中央鐵道デゴイマスカラ、首尾全ク中央カラ起點ヲ起シテ、サウシテソレノ連絡ヲ附ケタイト云フ考デゴザイマス、ソレデ私ハ第一敷設法案ノ改正トシテハ、吾々委員會ガ決定シタガ適當ナ改正デ、又左様ナ機軸ニ依ツテ大經綸ヲ行フテ往カナケレバナラヌト信ジテ居リマス、中野君ハ實際ノコトハドウデアアルカト云フガ、實際モ左様ナラザルヲ得ヌト思ヒマス、他日必要ナ時期ニ支線ヲ設ケルコトハ、別問題ト致シマシテ、今日ノ場合、法律ノ幹線ヲ以テシテ出サウト云フ研究スレバ、接続線ノ八王子、神奈川ヨリモ、中央ノ東京ニ出スガ必要ト思ヒマスカラ、此事ヲ申シテ置キマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 討論終決ノ勸議ヲ出シマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(鳩山和夫君) 討論終結ノ勸議ガ出テ、贊成ガアリマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、討論終結ニ決シテ、採決シマス、委員會ノ修正報告ガアリマスカラ、是ニ就イテ採決シマス、第二條、原案ヲ削除シテ、第一項ヲ左ノ如ク改ム、「東京府下東京ヨリ同府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道」委員會ノ報告ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 多數ト認メマス、唯今ノ決議ノ結果、中央線云々ト云フコト、神奈川縣云々ト云フ二行ハ、自然削除セラレタモノト見テ差支アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(鳩山和夫君) 削除シタモノト致シマス、第七條ニ就イテ採決シマス、第七條第一項ヲ左ノ如ク改ム「東京府下東京ヨリ同府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道」委員會ノ報告ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數
○議長(鳩山和夫君) 多數ヲ以テ決シマシタ、本案ハ是デ確定致シマシタ、次ハ日程第三

第三 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設(委員會長 許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)第一讀會ノ續(報告))

○恆松隆慶君(二百七十一番) 委員長ニ第三ト第四ト併セテ御報告アラシコトヲ望ミマス

○議長(鳩山和夫君) 御異議ガナケレバ、第三ト第四ト併セテ御報告ヲ

(望月右内君演壇ニ登ル)

○議長(鳩山和夫君) 委員長ハ別々ニ報告スル方ガ宜シイト云ヒマスカラ、チウ致シマス

○金岡又左衛門君(百二十番) 同一ノ事柄デアアルカラ、同時ニ願ヒタイ

○望月右内君(二百八十七番) 違ヒマス——本案ニ就キマシテ、此原案否決ノ報告ヲ致シテ置キマシタ、デ、其理由ヲ聊申述ベマス、元來此鐵道ハ國家ガ所有スベキ大鐵道デアリマス、然シテ三十三年度ヨリ、國費ヲ以テ架設シマスルコトノ豫算マデモ決定シテ居ル線路デアリマス、其線路ニ向ッテ、昨年協贊ヲ與ヘマシタ線路ニ向ッテ、今年直チニ私設ニ許シタイト云フ、政府ノ其意ノアル所ハ甚ダ解スルニ苦ミマシタ、故ニ委員會デモ詳細ニ質問致シマシタ所ガ、是ハ唯私設ガ願ッテ來タカラ許シタアルト云フ答デアリマス、ソレカラ穿ッテ今少シ尋ネテ見マサルト、此一期線トシマシタ所ノ線路中ニ、豫算ニ不足ガ生ジタ、其豫算ノ不足ヲ補フトスレバ、彼ノ六千万圓ト云フ法律ノ規定デアリマス、故ニ如何トモ仕様ガナイ、ソコデ之ヲ私設ニ許シテ、此金ヲ以テ他ノ線路ノ豫算ノ缺乏、豫算ノ不足ヲ補ヒタイト云フ意思モ含蓄シテ居ルト承知シマシタデアリマス、ソコデ既定ノ鐵道ニシテ、殊ニ特別經營ヲ爲スベキ此大鐵道、之ヲ私設ニ許スノハ不同意デアアルノミナラズ、個々別々ニ經營シテ居ル所ノモノヲ、他ノ豫算ガ缺乏シタカラト云フテ此決定シタ大鐵道ノ豫算ヲ皆削除シテシマハナケレバナラヌト云フヤウナ、左様ナ荒々シキ療治、左様ナ無謀ナコトハ致サナイガ宜シイト思フ、故ニ此私設ニ許スト云フコトニハ反對致シタデアリマス

○金岡又左衛門君(百二十番) 政府委員ニ御尋レマスカ、唯今望月君ヨリ委員會ノ結果ヲ御報告ニナリマシタガ、其理由ノ中ニ、政府ハ五千數百萬圓ノ鐵道公債ヲ募集シ、其金ノ缺乏カラシテ、此大鐵道タル山陰山陽ノ聯絡ヲ民設ニ許サウト云フコトデアアルト承リマシタガ、サウスルト、此政府提出ノ理由書トハ、大イニ矛盾シテ居ルヤウデアアル、此理由書ニハ私設會社カラ、願

出タカラ、鐵道敷設法ノ第十四條ニ依ッテ許可ヲ與ヘテヤルト云フ意味デア

ルガ、サウスルト此理由デハナクシテ、鐵道事業公債ノ募集如何ニ依ッテ、即チ委員長ノ報告ニ於テ拜聴シタ所デハ、大變違ッテ居ルガ、ドウ云フコトデアアルカ、一應政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタイ

○望月右内君(二百八十七番) ソレハ私ノ附ケタリナノデス

(政府委員遞信次官男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今御尋ノ趣ニ對シテ御答ヲ致シマス、委員長ノ報告ハ、少シク言葉ノ上ニ嫌ガアツタカト思ヒマス、政府ハ此二ツノ鐵道ヲ私設會社ノ出願ニ對シテ許可シヤウト云フノデ、理由書ニ認メテアル通デアリマス、勿論第九議會ニ於キマシテ、建設費ノ年割額ニモ加ヘテアルノデアリマスカラ、其儘官設ニシテモ宜シイノデゴザイマスガ、矢張工事ノ著手前ノモノハ、其議會ノ協贊ヲ經マサルレバ、私設ニ許可スルコトガ出來ル譯ニナツテ居リマス是迄モ議會ノ協贊ヲ經テ、許可ヲ與ヘタ例ガ澤山アルノデス、是モ同一ニ、其方ガ宜シイダラウ、尤モ年割額ハ決定シテ居リマスケレドモ、三十二年度以後デゴザイマセヌケレバ、陰陽聯絡線ハ手ヲ著ケル譯ニハ參リマセヌ、若シ私設ニ許可シマシタラバ、或ハ三十三年度ヲ待タズニ、敷設工事ニ著手スルコトガ出來ルカモ知レマセヌカラ、官設ニシテ、事業ノ發達ヲ止メテ置クヨリモ、私設ニ許ス方ガ宜カラウ、理由書ニ書イテアル通デス、少シ委員長ノ報告ノ言葉ノ中ニ累ロガアルヤウニ思フカラ、其コトヲ申シマス

○西谷金藏君(百八番) 政府委員ニ質問ガアリマス(採決々々ト呼フ者アリ) 政府ニ質問致シマスコトハ唯今政府委員ノ辯明ハ能ク分リマシタガ、此山陰山陽ノ連絡線ハ、一度私設ヲ願ッテ居ッタガ爾來私設デハ經濟界ノ形勢ニ依ッテヤリ惡イカラ、此私設ハ止メタイト云フ申出ガ續々アルト云フコトハ、吾々明ニ事實ヲ認メテ居リマス、斯ノ如ク會社ニ向ッテ強ヒテ私設ノ許可ヲシタイト云フノハ、如何ナル理由デゴザイマセウカ、政府ハ私設會社ニ許可サヘスレバ、私設會社ガ成立シヤウガスマイガ、ソレ等ノコトニハ一向頓著ハナイト云フノデゴザイマスガ、是ハ普通ノ線路トハ違フノデゴザイマス、曾テ官設線トシテ決定シ、其後豫算モ決定シタモノニシテ、未ダ曾テ國家ガ認メナイ線路トハ、大イニ趣ノ違フハ如何デアリマスガ、政府ハ私設會社カラ取消ノ要求ガアツテモ又其會社ガ成立スル見込ガナクテモ、一向左様ノコトハ頓著シナイ、一度官線トシテ決定シタガ、之ヲ私設ニ許スニ當ッテハ、一向責任ヲ持タヌト云フノデゴザイマスガ、一應確メテ置キマス

(政府委員遞信次官男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今ノ御質問ハ餘リ込入ツタ御質問ノヤウデゴザイマスガ、此願ガ出テ居リマスガ、願ツタ通ニ其私設鐵道ガ成立スルコトガ出來マセヌカラト云フコトハ、一向ドコカラモ申出テ參リマセヌ、或ハ昨年來非常ニ發達シタ所謂株式熱ト云フモノガ、稍々覺メカ、ツテ來タカ

ラ、サウ云フコトガアルカモ知リマセヌガ、マダ遞信省ハ此會社ガ出來ナイ
トカ、ドウトカ申スコトハ承テ居リマセヌ又果シテ許可ヲ與ヘタナラバ、
其鐵道ガ出來ルカト云フコトヲ保證スルヤ否ヤト云フコトハ、殊ニ困ルノデ
アリマス、詰リ初メニハ假免狀ト云フモノヲ渡スノデアリマスカラ、ソコデ
私設鐵道會社ガ假免狀ヲ貰ヘバ、其假免狀ノ權利ニ依テ、實測圖其他ヲ出
シテ、果シテ最前見込シタ金額ヲ建設ガ出來ルカ、又斯ウ云フ線路デ是ダケ
ノ營業ヲシタ以上ハ、最前ノ見込ノ通ニ收益ガアルデアラウカト云フヤウナ
コトガ、此假免狀ヲ貰フ以上テ始メテ確定スル、其上テ愈々見込ヲ立テ
バ、即チ其創業總會ナリヲ開イテ來マスカラ、初メ假免狀ヲヤル時ニ、此會
社ガ確ニ出來ルカ、此鐵道ガ完全ニ出來ルト云フヤウナコトハ、保證ノ出來
ル性質ノモノデナイカラ、其事ハ御答申シテ置キマス

○波多野傳三郎君(二百六十二番) 政府委員ニ御答ヲ求メマシマスガ、元來鐵道
ノ方針ニ就イテ、政府ノナサレ方ト云フモノガ、本員等ハ甚ダ感服セスコト
デアリマス、其第一ハ、二十五年ニハ當時ノ世間ノ狀態カラシテ、私設鐵道
買上ノ法案ガ出タト云フコトデアアル、又二十七八年戰役ノ結果トシテ、世ノ有
様ガ變テ來ルト云フト、法律トナツテハ來マセヌガ、評判ニ依レバ、官設
鐵道拂下ト云フコトモアツタ、實ニ政府ノ鐵道ニ對スル方針ト云フモノニ就
イテハ、敬服致サヌコトガ多ウゴザイマスガ、ソレハ第二段ト致シマシテ、
此鐵道ノコトニ就キマシテ、又政府ニ承リタイ、尙ホ一般ノ側カラシテ頗ル
敬服致サヌコトガアルヤニ思ヒマスガ故ニ、突留メテ置キタイト思ヒマス、

第一ハ、私設鐵道許可案ヲ政府ガ出サレト云フ儀ハ、果シテ私設ノ許可ヲ
請ヒタイト云フ出願ガアツタノデアリマセウガ、アリトスレバ其社名ハ何デ
アルカ、其社ヲ組織セントシタル發起人ハ、如何ナル人デアアルカト云フコト
ヲ承リタク存シマス、ト云フモノハ世界ノ評判ニ依リマス、此事ヲ願出シ
タガ、二十八年ノ戰役ノ結果、一時頗ル世ノ中ノ景況ハ直ツテ來タガ、又ドウ
ヤラ有様ガ變ツタ、ソレ故ニ此出願ヲ取消サントシテ居ルト云ヤウナコト
ヲ、本員等ハ聞イテ居リマス、果シテ然ルヤ否ヤハ存シマセヌガ、左様ナコ
トガアルト云フト、國家ノ運輸交通ノ必要ナル機關タル鐵道ヲ大成スルト云
フ上ニ、頗ル遺憾ノコト、思ヒマス、或時ニハ熱ニ浮サレテ願出デ、或時ニ
ハ引込マセル、斯様ナルコトガアルト云フト、誠ニ鐵道大成ト云フ上ニ遺憾
ノコト、思ヒマスガ故ニ、此案ヲ出サセルト云フコトハ、果シテ私設ニ許可
セラレタイト云フ出願者ガアリシヤ否ヤ、アリトスレバ社名ハ何デアアル
カ、之ヲ發起シタル人ノ人名ハ、如何ナル人デアアルカト云フコトヲ第一段
ニ承リタイ、第二段ニハ、政府ガ鐵道ヲ許可スルト云フニハ、身元調ト云フ
コトヲセラレタヤニ聞及ビマシタガ、果シテ身元調ヲセラレタトスレバ、斯
ノ如ク世ノ有様ト共ニ浮沈スルト云フヤウナコトガアリトスレバ、何ノタメ
ニ身元調ヲスルノデアアルカ、唯徒ラニ行政上繁雜ノコトヲヤツテ、繁文濶禮ヲ
ヤルト云フコトデ、身元調ヲセラレ、ノデアアルヤト云フコトヲ、第二段ニ御

尋シタイ

(政府委員遞信次官男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今波多野君ヨリノ御質問ハ、御議論ノヤウ
ナ處モゴザイマスシ、餘程事柄ガ煩雜ノ様デゴザイマスガ、其中初ニ御述ベ
ナリマシタ、政府ガ鐵道事業ニ對スル方針ガ、一定シテ居ラヌヤウデアルト
云フ御質問ノ様ニ承知致シマスガ、如何ニモ波多野君ノ御述ニナルヤウニ、
鐵道買收法案トカ、或ハ鐵道敷設法案トカ、様々ニ變換ハ致シマシタガ、是
ハ敢テ政府自ラガ變換スルデナシ、時勢ガツコニ及ンデ參リ、即チ政府ガ其
時勢ニ應ジタ法律ヲ拵ヘテ議會ニ提出シマス、議會ガ協賛ヲ與ヘル、是ガ與
論デアアル、輿論ノ變換スル所ノモノハ、即チ敢テ政府ノ意思ガ確定セヌト申
スモノデナカラウト思ヒマス、次ニハ敷設法ニ在ル線路ヲ私設會社ニ許可ス
ルトキニ、願ガ出テカラ許可スルヤ否ヤト云フコトデアアルガ、果シテサウデ
アリマスカ(波多野傳三郎君「左様」ト呼フ)ソレハ御氣ノ通デアリマス、
例ヘバ豫定線ナリ、若クハ敷設法第七條ニ掲ゲテ居ル一期線ナリ、此鐵道ヲ
斯ウ云フ會社ヲ組織シテ敷設スルコトニシタイ、就イテハ敷設免許ヲ貰ヒタ
イト云フモノガ顯レテ來マシタ所デ、果シテ建設シテ了ルデアラウト云フ信用
ガ出來タ所デ、始メテ許可スルコトヲ得ルト云フ、敷設法ノ命令ニ依ツテ許
可スルコトヲ得ルト云フコトヲ、議會ニ認メテ貰フタメニ、アノ様ナ案ガ出
テ參リマス、其次ニ、何ト云フモノガ發起シタカト云フコトハ今記憶シテ居
リマセヌガ、生憎發起人ノ名前書ハ持參シテ居リマセヌカラ、御入用デゴザ
イマスレバ、後トカラ御知ラセ申スコトニ致シマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 此問題ハ、委員長ノ報告ハ至當ナモノト思ヒ
マスカラ、讀會ヲ省略セラレンコトヲ希望シマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ノ動議ガアツテ、贊成ガアリマスカラ、起立
ニ問ヒマス、讀會省略ニ贊成ノ方ハ起立

起立者 多數

○議長(鳩山和夫君) 三分ノ二ノ多數アルモノト認メマス、即チ讀會ハ省略
セラレマシタ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社二敷設許可ノ件ニ
關スル法律案(政府提出)

確定議

(金岡又左衛門君演壇ニ登ル)

○金岡又左衛門君(百二十番) 私ハ委員長ノ報告ニ反對、即チ政府案ニ贊成
ヲ表スルモノデアリマス、唯今委員長ノ報告ニ依リマスレバ、此私設鐵道會
社ニ許可ヲ與ヘルト云フコトヲ否決シタ理由トシテ、陳ベラル、所ノ重モナ
ル點ハ、此線路ハ最モ大線路デアアルノミナラズ、此線路ハ既ニ豫定線ノ第一
期線ニ編入シテアルモノデ、三十三年度ヨリ著手スルト云フ順序ニナツテ居
ルカラ、此案ヲ民設ニ許スト云フコトハ、不可ナリト云フ理由ニ過ギナイ、

確定議

斯ノ如キ理由ヲ以テ——斯ノ如キ理由ヲ以テ、折角人民ガ願出タモノニ對シテ、許可ヲ與ヘズ、又一方ニ於テハ是ト同一ノ理由ヲ以テ、願出テ居ルモノニ許可ヲ與ヘル、即チ同一ノ性質ノモノニ向ッテ、二様ノ決定ヲ與ヘタナラバ、即チ衆議院ノ院議ハ、偏頗愛憎ノ心ヲ以テ決シタト云フ誹ヲ受ケテモ、私ハ其答辯ニ苦ムノデアリマス、故ニ吳ヨリ海田市ニ至ルモノハ、是ハ第一期線ニ載ッテ居ルモノデアリマス、是ハ委員長ノ報告ニ依リマスレバ、民設ニ許シテ差支ナイト云フコトデアアル、果シテ然ラバ是ト同一ノ性質ヲ有ッテ居ル、姫路ヨリ境ニ至ル鐵道案ヲ、民設ニ許可ヲ與ヘルト云フコトハ、少モ差支ナイコトデアアル、唯許可ヲ與ヘル與ヘナイト云フ論點ハ、此線路ハ是非トモ國家ガ、此線路ヲ經營スベキ特殊ノ性質ヲ帶ビテ居ルガ否ヤト云フコトサヘ論究スレバ分ルコトデアアル、而シテ此線路ハ、國家ガ之ヲ經營シナケレバナラナイト云フ所ノ理由ハナインデアリマシテ、之ヲ私設鐵道ニ許可ヲ與ヘテモ、少モ差支ナイコトデアリマス、故ニドウゾ諸君、委員長ノ言ハレタ所ノ少シモ理由ノナイ、所謂偏頗ナル不公平ナル委員長ノ報告ヲ排斥セラレテ、此政府案ヲシテ可決セシメラレンコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 贊成ノ演説ノ申込ハアリマスカ

○議長(鳩山和夫君) アリマセヌ

○恆松隆慶君(二百七十二番) 私モ贊成ノ演説ヲシタイデスガ、此場合止メ

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○西谷金藏君(百八番) 先程政府委員ノ答辯ハ甚ダ間違ッテ居ル、政府委員ガ斯ノ如キ間違ッテ答辯ヲ致シマスレバ、此決議ノ結果ガ間違フノデアリマスカラ、一言質シテ置カケレバナラナイ、政府委員ガ、此願ヲ取消シタモノハ、決シテナイト斷言シタノハ虚言デアアル、此神聖ナル議場ニ向ッテ確ニ虚言ヲ吐クモノデアアルト云フコトヲ、私ハ斷言スルニ憚ラナイ、何故ナレバ此線路ノ私設出願中、馬場幸次郎、川崎鐵藏、鉢田某外數十名ノ人ハ、確ニ書留ヲ以テ遞信大臣ニ取消ヲ申出テ、居ル確ナ證據ヲ持ッテ居リマス、斯ノ如キモノガアルニモ拘ラズ、遞信省ハ更ニ知ラヌト云フヤウナコトヲ以テ、答辯ヲスルノハ甚ダ不都合デアアルト云フコトヲ一言シテ置キマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

〔政府委員遞信省鐵道局長工學博士松本莊一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本莊一郎君) 一應ノ返答ヲスル必要ガアルト考ヘマス、先刻政府委員ヨリ、取消ヲ出願人ガ請求ヲ致シテ居ラヌト云フコトヲ言ヒマシタノハ、矢張其通デアアル、今ノ證據物見タヤウナモノヲ御讀上ゲニナツタノハ、發起人ノ多數アル中ノ個人ガ、郵便ヲ以テ遞信省ニ書面ヲ出シタト云フコトデアアル、抑々鐵道ノ出願ヲ致スニハ、成規ノ手續ヲ履ンデ、發起人等ガ團結シテ地方廳ヲ經由シテ、ツレツレノ手續ヲ以テ來ルノデアアル、其中ノ或ル個人ガ、或ハ仲間同士ノ不平トカ、種々ノ理由ヲ以テサウ云フコトヲ申出タ

コトハ、是マデ幾ラモアリス、ツレツレヲ以テ出願ヲ取消シタモノト斷言スルコトハ出來ナイ、故ニ出願ヲ取消シタモノハナイト言フタノデ、決シテ政府委員ノ言フタコトハ虚言デアリマセヌカラ、答辯シテ置キマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 採決シヤウト思ヒマスガ、宜ウゴザイマスカ

〔宜イ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 直チニ採決シマス、原案即チ政府案ニ就イテ採決シマス、原案ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス、原案ハ否決セラレマシタ

○名倉次君(二百六十五番) 讀會ハ省略ニナッテ居ルノデスカ

○議長(鳩山和夫君) 省略ニナッテ居リマス、日程第四ニ就イテ委員長ノ報告アリマス——望月右内君

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 敷設許可ノ件ニ關スル法律案

〔望月右内君演壇ニ登ル〕

○望月右内君(二百八十七番) 本案ニ就キマシテ此原案ヲ可認シマシタ理由ヲ聊申述ベマス、金岡君ガ此問題ニ入ラナイ前ニ報告下スツタケレドモ、間違ッテ居ル、此廣島縣下海田市カラ吳ニ行ク鐵道ハ、僅ナ鐵道デ、此僅ナ鐵道ヲ經營スルト云フコトハ、甚ダ不經濟デアアルト云フコトハ、私共常ニ信シテ居ッタノデアリマス、委員會ハドウモ此遠方ノ地方ニ向ッテ僅カノ經營ヲスルコトハ、國家ノタメニ甚ダ不經濟デアアルカラ、幸ニ私設ニ願ッテ來タレバ許シテシマウガ宜カラウ、政府ノ此案ヲ許可セウツ云フノハ、當然デアルト委員會ハ認メマシタ次第デアリマス、是ダケ御報告致シマス

○恆松隆慶君(二百七十二番) 讀會省略

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ニ就イテ動議ガ成立ッテ居リマシテ贊成ガアリマス、讀會ヲ省略シテ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(鳩山和夫君) 直チニ議題トナシマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出)

○議長(鳩山和夫君) 是ハ委員會ノ報告モ原案モ同シモノデスガ、原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

確定議

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通り可決致シマシタ、日程第五

第五 明治二十七年法律第二十三號改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續

○厚地政敏君(百五十六番) 此法律案ハ簡單ナルモノデアリマスガ故ニ、當席ヨリ報告シヤウト思ヒマス、明治二十七年、法律第二十三號改正法律案ハ簡單ナルモノニシテ、即チ此委員長理事ノ選舉ハ、議長ノ手許ニ於テ先日報告セラレタ通テ、其後會ヲ六日ノ日ニ開キマシタガ、直チニ可決確定致シマシタ、唯此改正ノ要點ト云フモノハ「之ヲ引率スヘキモノ」ト云フ事ニ改メルモノト、ツレカラ「下士卒」トアルモノヲ「將校」ト云フコトヲ加ヘテ、將校下士卒モ同様ニ、村役場ニ於テ旅費ノ前渡ヲスルコトニ止ルニテ、他ニ深キ理由ハナイ、ツレダケノ事デ直チニ確定致シマシタカラ、此段報告致シマス、併テ申シマスガ、今申シマスル通至極簡單ナ法律デゴザイマスカラ、讀會省略シテ直チニ確定ニナランコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 讀會省略ノ動議ガアツテ、成規ノ贊成ガアルガ、異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

明治二十七年法律第三十三號改正法律案(政府提出) 確定議

○議長(鳩山和夫君) 讀會ヲ省略シテ、朗讀ヲ省略シテ、全部議題ト致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 原案ノ通り可決致シマシタ、本案ハ是デ確定致シマシタ、日程第六、兵器火藥取締法案第一讀會

第六 兵器火藥類取締法案

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

兵器火藥類取締法

第一條 本法ニ於テ兵器ト稱スルハ銃砲刀劍及槍戟等ヲ謂ヒ火藥類ト稱スルハ火藥雷管導火線其ノ他爆發發質物品ヲ謂フ

第二條 兵器火藥類ハ特ニ命令ヲ以メ定メタル外之ヲ製造及輸入スルコトヲ得ス

第三條 仕込刀劍仕込銃其ノ他外様ヲ變シタル兵器ハ攜帶スルコトヲ得ス

第四條 憲兵警察官ハ必要ト認ムルトキハ何人ノ所有ヲ問ハス兵器火藥類ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第五條 左ノ事項ニ關シ取締上必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

一 兵器及火藥類ノ營業製造輸入授受及使用

二 火藥類ノ貯藏運搬及其ノ他ノ取扱

三 火藥類倉庫ノ位置及構造

第六條 内務大臣拓殖務大臣ハ公共ノ安寧ヲ保持スルニ必要ト認ムルトキハ期間及地域ヲ限リ兵器火藥類ノ授受運搬及攜帶ヲ禁シ又ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ憲兵警察官必要ト認ムルトキハ兵器火藥類ヲ領置スルコトヲ得兵器火藥類ニアラスト雖攜帶者ノ用法ニ依リ危險ノ虞アリト認ムル物件ニ對シテモ亦同シ

第七條 第二條ニ違背シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加シ其ノ物件ヲ沒收ス

第三條ニ違背シ又ハ第六條第一項ノ命令ニ違背シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮又ハ五百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ物件ヲ沒收ス

第八條 明治五年第二十九號布告銃砲取締規則及明治十七年第三十一號布告火藥取締規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

明治九年第三十八號布告及明治十七年第三十二號布告爆發物取締規則ハ此ノ法律ノ爲其ノ施行ヲ妨ケラル、コトナシ

第九條 此ノ法律ハ陸海軍官憲其ノ他官廳ニ屬シ及官職ニ要スル兵器火藥類ニ適用セス

(政府委員内務省警保局長寺原長輝君演壇ニ登ル)

○政府委員(寺原長輝君) 本案ヲ提出致シマシタ簡略ナル理由ヲ申上ゲマス、銃砲取締規則、及火藥取締規則ハ、明治五年、明治十七年ノ頃ニ制定セラレマシタモノデ、今日ノ實際ニ適合致シマセヌカラシテ、茲ニ改正ヲ要スル次第デゴザイマス、又刀劍其他刀劍ニ類似スル所ノ器具ノ取締法ハ、今日迄制定シテアリマセヌカラ、爲ニ種々ナ取締上ノ不都合ヲ感シマスカラ、是モ加ヘタ次第デゴザイマス、次ニ此法案ハ保安條例ノ廢止法案ト聯關致シマスカラシテ、御議決ノ場合ニハ、彼是宜シク御參照アラントヲ希望致シマス

○議長(鳩山和夫君) 質問ガナケレバ日程第七ニ移リマス、宜シウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 日程第七ニ移リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恆松隆慶君(二百七十二番) 是ハ隨分第六ノ方ハ重大ナ問題デゴザイマスカラ、委員ヲ十八名トシテ議長ノ指名

(「九名デ澤山」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 委員ヲ十八名トスルト云フ數ニ就イテ採決シマス、他

ニ異議ハナイヤウデス、十八名トスルコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス——ソレデハ議長指名ノ九名ノ委員ニ
付託スルト云フコトハ異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 其通可決致シマシタ、日程第八、警察監視法案——政
府委員寺原長輝君

第八 警察監視法案(政府提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

警察監視法

第一條 廳府縣長官ハ左ノ第一號乃至第五號ニ該當スル者ニ對シ再ヒ其行
爲ヲ爲スヘカラサルコトヲ戒告シ必要ト認ムルトキハ一定ノ期限内ニ住
居ヲ定ムヘキコト及一定ノ期限内ニ適法ノ生業ニ従事スヘキコトヲ戒告
スルコトヲ得

第六號ニ該當スル者ニ對シテハ一定ノ期限内ニ住居ヲ定ムヘキコト及一
定ノ期限内ニ適法ノ生業ニ従事スヘキコトヲ戒告スルコトヲ得

一 謀殺毆打創傷強盜脅迫略取誘拐放火ノ所爲ヲ企圖シ又ハ煽動若クハ
幫助シタルモ犯罪ノ要件ヲ具備セサルカ爲免訴若クハ無罪ヲ言渡サ
レタル者

二 一定ノ住居又ハ生業ヲ有セス猥ニ他人ノ業務ヲ妨害シ又ハ他人ノ開
設シタル集會ヲ妨害シタル者

三 財物ヲ強要シタル者

四 猥ニ金錢ノ助力ヲ他人ニ求メ又ハ乞丐ヲ爲シタル者

五 密ニ賈淫ヲ爲シ及其ノ媒合容止ヲ爲シタル者

六 收益ノ途ヲ有セス且其ノ身元ヲ證明スル能ハサル者

第二條 戒告ヲ受ケタル者戒告ヲ履行セス又ハ他ノ犯罪ヲ爲シタルトキハ
法律命令ニ依リ處罰セラル、外廳府縣長官ハ三年以下ノ期限ヲ定メ住居
地若クハ職業ヲ指定シ又ハ住居地及職業ヲ併テ指定スルコトヲ得但シ原
籍ヲ他ノ廳府縣ニ有スル者ニ對シテハ住居地及職業指定ヲ其ノ廳府縣長
官ニ囑托スルコトヲ得

職業ヲ指定スルモ其ノ職業ヲ勉ムルノ見込ナキ者及職業ヲ指定シタル後
其ノ職業ヲ勉メサル者ハ廳府縣長官三年以下ノ期限ヲ定メ強制勞役ニ付
スルコトヲ得強制勞役ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

本條ノ處分ハ徵兵令ニ依リ兵役ニ徵集セラル、コトヲ妨ケス
第三條 外國人ニ對シテハ廳府縣長官前條ノ處分ヲ爲サシテ帝國ノ領土
ヲ退去スヘキコトヲ命シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ領土外ニ護送スルコ

トヲ得但シ條約ニ別段ノ規程アルトキハ此ノ限ニ在ラス
退去ノ後許可ヲ得シテ復歸シタル者ハ第十條ニ依リ處罰セラル、ノ外
再ヒ退去ヲ命スルコトヲ得

第四條 廳府縣長官ハ第一條第一號乃至第三號ニ該當スル者ニ對シ戒告ヲ
爲サシテ直ニ第二條又ハ第三條ヲ適用スルコトヲ得

第五條 居住地ノ指定ハ市町村又ハ其ノ大字若クハ區大字若クハ區ヲ有
セサル市ニ於テハ市内ノ町ニ於テシテ左ノ各號ノ一ヲ擇フヘシ但シ各號ニ
該當スヘキ地ナキトキハ廳府縣長官適當ト認ムル地ヲ指定スヘシ

一 現住居地
二 戶主ノ住居地
三 親族其ノ他生計ノ監督及救助ヲ引受クル者アル地
四 原籍地

第六條 廳府縣長官住居ヲ指定シ又ハ移轉ヲ許可シタル場合ニ於テ必要ト
認ムルトキハ警察官ヲシテ護送セシメ又ハ到著スヘキ時間及其ノ道筋ヲ
定メ旅券ヲ交付シテ旅行ヲ強制スルコトヲ得

第七條 住居地又ハ職業ノ指定ヲ受ケタル者ハ警察官ノ許可ナクシテ酒宴
遊興ノ席ニ會シ若クハ公會ニ列スルコトヲ得ス

第八條 警察官必要ト認ムルトキハ住居地又ハ職業ノ指定ヲ受ケタル者ノ
居宅ニ臨檢スルコトヲ得

第九條 第一條乃至第三條ノ處分ハ悔悛ノ情狀顯著ナルトキニ於テ何時ニ
テモ之ヲ解除スルコトヲ得

第十條 左ニ掲グル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上三十圓以
下ノ罰金ニ處ス

一 住居地指定若クハ職業指定ノ命令又ハ退去命令ニ違背シタル者
二 許可ヲ受ケスシテ指定ノ住居地ヲ移轉シ若クハ指定ノ職業ヲ變更シ
タル者

三 退去ノ後許可ヲ受ケスシテ復歸シタル者
四 住居地ノ指定ヲ受ケタル者ニシテ命令ノ規程ニ違背シテ旅行シタル
者

五 強制勞役中脱走シタル者

第十一條 一定ノ行爲ヲ爲スヘカラサルノ戒告ヲ受ケタル者ニシテ戒告ノ
日ヨリ二箇年內ニ戒告ニ違背シタル者及理由ナクシテ戒告ノ期限内ニ住
居又ハ適法ノ生業ヲ定メサル者並第七條ニ違背シタル者ハ十一日以上一
月以下ノ重禁錮又ハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
(政府委員內務省警保局長寺原長輝君演壇ニ登ル)

○政府委員(寺原長輝君) 警察監視法案ハ、現行豫戒令ニ多ク關係ヲ有ツ所
ノ法案デゴザイマスガ、今行レテ居マス所ノ豫戒令ノ實際ノ適用方ハ、多ク

ハ政治上ノ取締ニ向テアリマスデゴザイマス、此節提出ノ監視法ノ精神ハ、專ラ奇怪無類無産ノ徒ニシテ、徘徊流浪シ、爲ニ良民ニ危害、若クハ損害ヲ被ラセントスル所ノモノヲ豫防シ、若クハ改悟遷善セシムル所ノ一デゴザイマス、從テ或ル必要ノ場合ニ於テハ、右申上ゲマシタ所ノ種類ノ人ヲシテ、強制勞役ニ從事セシムル積デゴザイマス、現行豫戒令トハ立法ノ趣旨ニ於テ精神ヲ異ニシマス、實際ノ適用上ニ就イテモ、大イニ今日ト越テ異ニセナクテナラヌ積リデゴザイマス、宜シク御贊同アラシムコトヲ希望致シマス

○谷澤龍藏君(百八十九番) チョット質問致シマスガ、此案ハ今朝受取ツタノデアリマスカラ、十分マダ見マス暇ガゴザイマセヌガ、隨分此中デハ嚴酷ナヤウナ事柄ガアル様デアリマス、例ヘバ第一條ニ依ツテ見レバ、毆打創傷罪ノ犯罪ヲシタ者ハ、矢張此改悛ノ情ノ顯著ナルモノデ、解除スルモノガゴザイマスガ、是非一度ハ監視法ニ付セラル、ヤウデス、サウ云フコトガ出來タナラバ、成ル程豫戒令ノ如キトハ同シヤウナコトデアリマスガ、アレハ又一種罪惡ヲ拵ヘヤウト云フ場合デアアル、是ハ些々タル所ノ毆打創傷ト云フヤウナ、行違ヒ上カラ、サウ云フヤウナ事モ生シヤウト思フ、サウ云フモノマデモ是ヲ以テ悉ク監視シテ往クト云フコトニナツタナラバ、其結果、隨分人民ガ迷惑ヲスルコトガアラウト思フ、是ハドウ云フヤウナ全體精神デ、御組立ニナツタモノデアリマスガ、隨分斯様ナ嚴重ナ事ハ、吾々ハ此外ニモナカラウト思フ、何カ是ニハ十分講ゼラレタ事デモアリマスガ、大體ノ事丈ヲ承ツテ置キタイ、詳略ナ事ハイツレ委員會デアリマセウカラ、隨分是ハ苛酷ナ法律ノヤウニ思フ、一應承ツテ置キタイ

○政府委員(寺原長輝君) 谷澤君ノ毆打創傷ト云フ事ハ、一ノ例トシテノ御尋デゴザイマセウガ、先ヅ謀殺其他重罪ノ刑ヲ犯サントシタ所ノモノデ、裁判上無罪ニ歸シ、若クハ免訴セラレタモノヲ、豫防ノ目的カラ警察上ノ監視ヲ以テ、之ヲ防止シテ行クト云フノガ、大體ノ趣意デゴザイマス、自ラ其逐條ニナリマシテハ、其節ニ臨ミ詳細ノ御答辯ヲ致スコトニ致シマセウ

○小畑岩次郎君(百二十八番) 私モ細カイ事ハ措キマシテ、二三大體ヲ聽イテ置キタウゴザイマスガ、此法案ハ今日マデ社會ニ權利トカ何トカ云フテ、ヤカマシク云フタ所ノ豫戒令ダトカ、何トカ云フ様ナ、是ハマア議會始ツテ以來非常ニアノ案ヲ廢セナケレバナラヌト云フコトヲ、國民一般モ、又議會モ唱ヘ來リマシタガ、ソレヲ廢スルト共ニ、此法案ヲ見マスルト、實ニヒドイ法律——豫戒令ドコロデハナイ、之ヲ若シ嚴酷ニ執行シマシタナラバ、又初ヨリハ一層甚シイ、モウ一ツ言ヒマシレバ……ノコトニモ立入ツテヤルト云フヤウナコトガ書イテアル、譬ヘテ言フナラバ、彼ノ住居ト職業ヲ指定スルト云フヤウナコトガアリマスガ、職業ヲ警察ガ指定シタ所デ、資本ガナケレバ實行スルコトガ出來ナイ、又之ヲ見ルト、殆ド乞丐ノ如キモノハナイヤウニシヤウ、斯ウ云フヤウナコトデアアル、社會ニ乞丐ガナイト云フヤウニナルナラバ、是程幸ノ事ハナイケレドモ、是ハ到底言フベクシテ行レヌコトデア

ルガ、政府ハ是等ノコトハ如何ナル方法ヲ以テ、乞丐モナイヤウニシヤウト云フガ如キ、實行手段ヲ取リマスガ、又此法律ヲ實行スルニ於テ、理由ノ一トシテハ、監獄署ニ入ル者ガ多イ、之ヲ減ズルト云フコトガ政府ノ理由ノ様ニモアリマスケレドモ、是ヲ實行シテ果シテ法律トシテ嚴重ニ施行シタナラバ、一層本員ノ如キハ監獄ニ入ル者ガ殖エハセヌカト云フヤウナコトモ思ヒマス、又此法律ヲ施行スルニ就イテ、職業ヲ指定スルトカナントカ云フコトニ就イテハ、費用ガ要リマセウガ、其費用ハ地方ノ警察費デヤルト云フノカ、何カ別ニ職業ヲ指定スルトカ云フヤウナコト、其他ニ就イテノ費用ハドウ云フ御考デアアルカ、是ダケノ廉ヲ質問シテ置キマス

○政府委員(寺原長輝君) 大體ニ就イテ御答申シテ置キマスルガ、唯今ノ豫戒令ノ方デ見マスルト云フト、或ル行爲ノ、所謂事實ニ就イテ之ヲ處分スルノデナク、例ヘバ他人ノ自由ヲ妨害シ、若クハ妨害セントスルモノトカ、或ハ粗暴過激ノ言論ヲ爲シ、若クハ爲サントスル者トカ、極ク其空漠タル所ノ部分ニナツテ居ルノデアリマス、爲ニ之ヲ執行スル上ニ就イテ一々執行官ノ認定ニ任スルヨリ外ニナイノデアリマス、往々其點ニ就イテ世論ノ喧囂ヲ招イタ例モ少カラヌ次第デ、又免レザルヲ得ヌノデアリマス、デ、監視法デゴザイマス、斯ノ如キコトハ爲サヌノデアアル、事實ヲ以テ、其事實ガ果シテ此法ニ規定シタル所ノ行爲ノ違反デアラッタナラバ、ソレデ取締ツテ行クト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ乞丐者ノ如キモノモ、悉クナカラシメント云フコトハ、是ハ到底行レヌ譯デゴザイマセウガ、併ナガラ修正ノ目的ヲ申シタナラバ、斯ノ如キ無産ノ徒ハナカラシメント云フヨリ好マシタコトハアリマスमित思ヒマス、ソレデ之ニ業ヲ授ケル、其方法ニ至リマシテハ、自ラ命令ヲ以テ詳細ニ、ソレハ規定スル積デゴザイマスガ、其費用ノ一段ニ至リマシテハ、是ハ府縣稅若クハ町村稅、其者ノ所屬ノ團體ノ經費ニ屬セシメナケレバナリマスमित思ヒマス、又一ツ例ヲ申上ゲマスレバ、土木事業ノタメニ、數多ノ工夫ヲ要スル場合ノ如キ、其他特殊ノ事業ノタメニ、府縣稅若クハ其他ノ團體ノ經費ヲ以テ、之ニ當嵌メテ其者カラ得ル所ノモノヲ以テ、收入ニ充ツルト云フヤウナ風ニシタラ、宜カラウト思ヒマス

○鈴木充美君(六十九番) 政府委員ニ御尋シマスルガ、此案ハ實ニドウモ忍ルベキ豫戒令ヲ廢シテ、豫戒令ノ數倍酷ノモノヲ出サレタヤウデアリマスガ、ソレハ議論ニナリマスカラ、ソレナコトハ問ヒマセヌ、後ノコト、シマスガ、兎ニ角是ハ刑法ノ範圍ニ於テ罰シタコトモ、亦共ニ行フト云フ精神デアリマスガ

○政府委員(寺原長輝君) ソレハヤラヌノデアリマス

○鈴木充美君(六十九番) ドウ御答デスカ

○政府委員(寺原長輝君) 刑法デ罰シタモノマデハヤラヌノデアリマス

○鈴木充美君(六十九番) 刑法ニ就イテ罰シタモノハ、是デ御問ニナラヌト云フノデスカ

ト云フヤウナコトガアリマスガ、職業ヲ警察ガ指定シタ所デ、資本ガナケレバ實行スルコトガ出來ナイ、又之ヲ見ルト、殆ド乞丐ノ如キモノハナイヤウニシヤウ、斯ウ云フヤウナコトデアアル、社會ニ乞丐ガナイト云フヤウニナルナラバ、是程幸ノ事ハナイケレドモ、是ハ到底言フベクシテ行レヌコトデア

ルガ、政府ハ是等ノコトハ如何ナル方法ヲ以テ、乞丐モナイヤウニシヤウト云フガ如キ、實行手段ヲ取リマスガ、又此法律ヲ實行スルニ於テ、理由ノ一トシテハ、監獄署ニ入ル者ガ多イ、之ヲ減ズルト云フコトガ政府ノ理由ノ様ニモアリマスケレドモ、是ヲ實行シテ果シテ法律トシテ嚴重ニ施行シタナラバ、一層本員ノ如キハ監獄ニ入ル者ガ殖エハセヌカト云フヤウナコトモ思ヒマス、又此法律ヲ施行スルニ就イテ、職業ヲ指定スルトカナントカ云フコトニ就イテハ、費用ガ要リマセウガ、其費用ハ地方ノ警察費デヤルト云フノカ、何カ別ニ職業ヲ指定スルトカ云フヤウナコト、其他ニ就イテノ費用ハドウ云フ御考デアアルカ、是ダケノ廉ヲ質問シテ置キマス

○政府委員(寺原長輝君) サウデス

○鈴木充美君(六十九番) ソレデハ此第一條ノ第三ニ、財物ヲ強要シタル者トアル、ソレカラ第五ニハ、密ニ賣淫ヲ爲シト云フノダカラ、是等ハ總テ刑法ノ箇條デ問フベキコトノヤウニ思ヒマスガ、サウスルト、是ハ刑法ニ既ニ罰スベキコトデアリナガラ、之ニ這入ッテアル

○政府委員(寺原長輝君) 罰スベキ行爲デ、裁判上罰セラレナカッタモノデ

○鈴木充美君(六十九番) 此案ノ上デ、左様ナ所ハ澤山見エマスガ、第一條ノ第一項ニハ、成ル程毆打創傷、強盜、脅迫等ノコトニ就イテ、犯罪ノ要件ヲ具備セザルタメ、免訴云々トアルケレドモ、財物強要トカ、密賣ヲスルトカ云フ如キハ、是等ニハ犯罪トシテ罰セラレナカッタト云フコトハ、書イテナイノデアリマスガ、之デ分ル積デアリマスカ否ヤト云フコトヲ御尋致シマス

○政府委員(寺原長輝君) 兎ニ角刑法デ罰シタモノハ、此監視法ヲ以テ罰スルト云フ精神デハゴザイマセヌガ、併シソレハ各條ニ就イテ、尙ホ其場合ニ能ク御答辯スルコトニ致シマセウ

○鈴木充美君(六十九番) ソンナラバ、現ニ明ニ刑法ノ箇條デ禁ジテアルコトガ、此處ニ掲ゲテアル、サウシテ刑法ニ罰セラレナカッタト云フ場合ニ、之ヲ行フト云フコトニナルト、同ジコトニ就イテ二ツノ仕事ヲシナケレバナラヌケレドモ、ソレデモ一方デ罰シナカッタ場合ニ、刑法デハ認定セラレテ居ラヌ事實ガアリナガラ——刑法デハ認定セラレテ居ナイ場合ニ、此法ヲ行フト云フコトニナリマスガ、裁判官スラモ罰スベキモノデナイト認めタモノヲ、同ジ行爲ガアルト云フコトヲ誰ガ判定スルノデゴザイマセウ、抑、第一條ノ各項ニ擧ッテ居ルコトハ、如何ナル人ガ之ヲ認定シマスカ、此點ヲ御尋シマス

○政府委員(寺原長輝君) ソレハ刑法ト均ク法律ニ照ラシテ、均シク裁判上ニ處罰ヲ決スルノデハナクシテ、所謂警察ノ監視上ニ必要ナル點カラシテ、以テ取締ヲ致スノデゴザイマスカラ、自ラ種類ガ別ナモノト御承知下サラナケレバナリマセウ

○鈴木充美君(六十九番) 唯今ノ答ハ、要領ヲ得ナイ、同ジ行爲ガアッテ、其行爲ト云フモノヲ刑法上ニ於テ罰セナイ場合ニハ行フ、刑法上デ罰サナイ其行爲ガ罪トナルベキコトヲ、ドウシテ區別ガ付キマスカ、裁判所デハ、財物ヲ強要シタモノハ、罪トナルベキ刑法ガアリマスガ、其刑法ニ於テ罰セナイ外ニ、マダ財物ヲ強要スル者ガアリマスガ、ソレヲ警察官ガドウシテ認定シマスカ、又賣淫ヲ行フ、刑法ニ於テ、賣淫ヲ罰スル箇條ガアル、箇條ガアルガ、其刑法ニ於テ罰セナイ賣淫ト云フモノハ、マダ世ノ中ニ在ルノデゴザイマセウカ、誰ガ之ヲ認定致シマスカ、認定ハ誰ガスルカ、サウ云フ別ガ付クカ、此點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(寺原長輝君) 今御答致シマシタ通ニ、普通刑法ト別ニシテ、特殊ノ警察監視法ト云フ特別法律ヲ以テ、之ニ規定シテアル所ノ種類ノモノヲ取締リタイトノ法ノ組立デアリマスルデゴザイマスカラ、大體ノ趣旨ハ今申シマシタ通デゴザイマス

○鈴木充美君(六十九番) 實ニオカシナコトヲ承リマシタ、宜シウゴザイマス、サウ云フ曖昧ノコトナラバ……

○小畑岩次郎君(百二十八番) チョット尙ホ質問シテ置ク

○議長(鳩山和夫君) 宜ウゴザイマス

○小畑岩次郎君(百二十八番) 此職業ヲ指定スルコトニ就イテ、尙ホ費用ヲ要スルコトハ、其地方ノ負擔トスル、斯ウ云フ様ニ聽キスシタガ、此法律ハ何時カラ施行スルノ積デゴザイマスルカ、其事ヲ一應聽イテ置キタウゴザイマス、尙ホ施行ノ期限ガナイヤウデアリマスガ、若シ直チニ施行スルト云フコトニナリマシタナラバ、此第一條ノ第四ニ對スル如キモノハ、世間ニ澤山アルモノシヤラウト思フテ居ルガ、是等ニ對シテ、第一條ノ趣意ヲ以テ政府ハ戒告ヲ——警察地方官ガ戒告ヲ爲シテ、其上デ職業ヲ指定シタ所デ、尙ホ其職業ヲスルト云フコトニ就イテハ、ドウ云フ職業ヲ指定スルカ知ラヌガ、其人ニ相當スルモノヲ言フタナラバ——或ハ商業ニ從事スベキモノト認めタモノガアル、ソレニ商業ニ從事セイト言フタ所ガ、資本ノナイ時分ハ從事スルコトハ出來ナイ、ソレ等ハ如何ニスルカ、若シ職業ヲ指定シテ、ソレニ從事スルコトヲセナンダナラバ、政府ハ強制勞務ニ服ス、即チ強制——是等ノ如キハ實ニヒドイ法律デアリマスガ、是ハ商業ヲスルニハ、或ハ工業ヲスルニハ、相當ノ資本ガナケレバ出來ナイ、其資本ヲ與ヘテ、尙ホセヌケレバ如何デアル、ケレドモ是ハ餘程困難ナヤウニ思ヒマスガ、ソレニ就イテハ若シ直チニ施行スルト、地方デ府縣會デモ開イテ、豫算ヲ極メテ置カナケレバナラヌ理窟ガアルト思フ、ソコ等ハドウ云フ御考デアリマスカ、何分ニ此法律ヲ見ルト、ヒドイ法律、ソレカラ尙ホ斯ウ云フ法律ヲ設ケニヤナラヌ様ナ理由ガ、何か外ニ事實ノ上ニ於テ、此法律ヲ設ケナレバナラヌ必要ガアッタコトカ、此法律ガ生シテ來タ理由ヲ、大體ニ就イテモウ少シ精密ニ聽イテ置キタウゴザイマス

○政府委員(寺原長輝君) 第一御尋ノ業ヲ授ケル方法、其他費用ノ支出上等ニ關係致シマスル規定ハ、前申シマス通ニ、命令ヲ以テ細カニ規定スル積デゴザイマスガ、今其方法細目等、一々御答辯致ス場合ニ至ッテ居リマセヌ、ソレ等ノコトニ至リマシタナラバ、委員會ノ節ニテモ詳ク申述ベルコトニ致シマセウ、ソレカラ此法ヲ出シタ、法案ヲ出シタ趣意ハ、先キ大體申述ベマシタヤウニ、詰リ約メテ申シマスルト、罪犯ノ豫防上カラ必要ヲ生ズルノデ、加フルニ一々此罪犯ノ豫防デスト云フダケデハ、其目的ヲ達スルニ難イ次第デゴザイマスカラ、無賴ノ徒、若クハ無産ノ徒、其他罪ヲ犯サントシテ有罪ニ決シナカッタケレドモ、ソレ等ハ罪犯ノ二度同一ノ罪科ヲ犯スモノ

デアルト認定ノ付イタル所ノ種類ハ、應分ノ業ヲ授ケテ、遂ニ正道ニ歸セシムルト云フ、此ニツノ理由ニ外ナラヌノデゴザイマス

(八數ガ足リマセヌ)ト呼フ者アリ)

○山田泰造君(四十四番) 私ハ唯今鈴木君へ對スル政府委員ノ御答テ、益々疑ヲ生ジタノデアリマスルデ、ソレ故ニ一言御尋ヲ致シタイ、唯今政府委員ノ述ベラレマシタ言葉ニ依リマスルト、裁判所デ無罪ト云フコトヲ宣告シタトキニ、之ヲ適用スル、斯ウ云フヤウニ、即チ裁判所ノ判決ガ宣告シテ、有罪トスルトキニハ、之ニ據ラヌモノデアアル、斯ウ云フヤウニ承リマシタ、而シテ此提出セラレタル法案ニ依リマスルト、詰リ其中著シイノガ、一條ノ五項ニ在リマス所ノ密賣淫ノ如キハ、現ニ法律ガ規定シテ、之ヲ罰シテ居ル、密賣淫ハ罰シテ居ル、然ルニ裁判所ハ無罪ト言フテ之ヲ放免ラヌル、其場合ニ斯ノ如キ所爲アルモノト認定スルノハ、即チ警察官デアアル、若シ裁判所ガ無罪ト宣告シテ罰セザルモノヲ、警察官ガ自ら認定シテ此處置ヲ行フ、此時ニナルト、間接ニ司法權ヲ侮辱シタルモノ——侮辱ト云フノハ、ドウデアアルカ知ラヌガ、司法權ヲ侵シタルモノ、間接ニハサウナリハシナイノデアリマスカ、其司法權ヲ侵スノハ、詰リ見込ニ依リマスルガ、免ニ角刑法ナラバ、刑法トシテアル法律ノ神聖ヲ瀆スト云フコトノ結果ヲ推及シハシマセヌカ、今承テ所ニ依ルト云フト、マサシク其意味ニ歸著スルヤウニ思ハレマス、若シ果シテサウ云フコトニナリマスルト、此法律ノ警察——是ハ刑法以外ニ、司法權以外ニ警察官ニ非常ノ權力ヲ與ヘル、斯ウ云フノガ法律ノ旨意デアリマス譯デアリマスカ、ソレヲ特ニ承リタイ次第デアリマス

○議長(鳩山和夫君) 定足數ガ缺ケマシタカラ、——明日ニ延會致シマス、明日ノ議事日程ヲ報道致シマス

(田中書記官朗讀)

午後一時開議

- 第一 警察監視法案(政府提出) 前會ノ續
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 保安條例廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 國稅徵收法案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第七 震災地方租稅特別處分法案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 保安條例廢止法律案(竹内正志君外二名提出) 第一讀會
- 第十 豫戒令廢止建議案(竹内正志君外二名提出) 第一讀會
- 第十一 明治二十八年法律第四號中改正法律案(重岡善五郎君外五名提出) 第一讀會
- 第十二 肥料取締法案(福田久松君提出) 第一讀會

- 第十三 會計年度改正ニ關スル建議案(小坂善之助君外九名提出)
 - 第十四 明治二十七年法律第二十號中改正法律案(關信之介君外二十八名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
 - 第十五 私設鐵道條例中改正法律案(南野道親君提出) 第一讀會
- 議長(鳩山和夫君) 散會シマス
午後五時二分散會

衆議院議事速記録第十八號正誤

頁 段 行 誤

二七九 上 二九 議長指名

○吉本榮吉君(二百五十六番) 是モ 議長指名